

北区全高齢者実態把握調査

〈 長生きするなら北区が一番アンケート 〉

報 告 書

【概要版】

令和4年3月

北 区

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の対象	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
6. 日常生活圏域について	5
7. 回答者の属性	7
第 2 章 調査結果の詳細	9
1. ご本人のこと	11
(1) 家族構成	11
(2) 住居形態	12
2. 日常生活	13
(1) 歩行や転倒	13
3. 健康	14
(1) 6 ヶ月間で 2 ～ 3 k g 以上の体重減少	14
(2) 身長・体重	14
(3) 口腔機能	16
(4) 昨年と比較した外出頻度の減少	17
(5) 認知機能	20
4. こころの健康	21
(1) 最近 2 週間の気持ちや心の状態	21
(2) 健康状態	24
5. 通信手段	25
(1) 普段から見聞きしている情報媒体	25
6. 交流	26
(1) 近所付き合いの程度	26
(2) 地域の人から頼りにされたりしていると思うか	30
7. 地域活動	31
(1) 活動への参加頻度	31
(2) 災害時・緊急時での手助け	34
8. コロナ禍における心身の状態変化	35
(1) 自粛生活での暮らしや気持ちの変化	35
9. 相談	38
(1) 高齢者あんしんセンターの認知度	38
(2) 困りごとの相談先	39

1 0. 緊急時について	40
(1) 緊急時対応してくれる人の有無	40
1 1. 特に見守りが必要と思われる方について	41

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和3年10月1日現在北区在住の満65歳以上で要介護認定を受けていない方全員を対象に、高齢者一人ひとりの日常の生活状況や健康状態、地域とのかかわりなどを把握し、高齢者の社会参加、介護予防・自立支援につながる施策を構築する基礎資料とするとともに、PDCAサイクルに沿った施策推進を可能とするため郵送による調査を行いました。

2. 調査の対象

対象者：北区在住の満65歳以上で要介護認定を受けていない方全員

調査方法：郵送配布・郵送回収（督促はがき1回）

調査期間：令和3年11月24日（水）～12月22日（水）

〈対象者の性別・年齢別内訳〉

(人)

年齢	男性	女性	合計
65～69歳	8,455	8,232	16,687
70～74歳	10,524	11,228	21,752
75～79歳	6,717	8,729	15,446
80～84歳	4,740	7,068	11,808
85歳以上	3,393	6,257	9,650
合計	33,829	41,514	75,343

3. 調査内容

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) ご本人のこと | (6) 交流 |
| (2) 日常生活 | (7) 地域活動 |
| (3) 健康 | (8) コロナ禍における心身の状態変化 |
| (4) こころの健康 | (9) 相談 |
| (5) 通信手段 | (10) 緊急時について |

4. 回収結果

対象者数 75,343人／有効回収数 51,741／有効回収率 68.7%

(人)

年齢	男性	女性	合計
65～69歳	4,837	5,061	9,898
70～74歳	6,615	7,726	14,341
75～79歳	4,774	6,634	11,408
80～84歳	3,639	5,395	9,034
85歳以上	2,531	4,487	7,018
合計	22,396	29,303	51,741※

※性別、年齢が無回答の42人を含む

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・年代・高齢者あんしんセンターなどのクロス分析の場合、年代・住所が不明の対象者は省くため、回答者数合計値は、調査回答者全員の人数より少なくなることがあります。

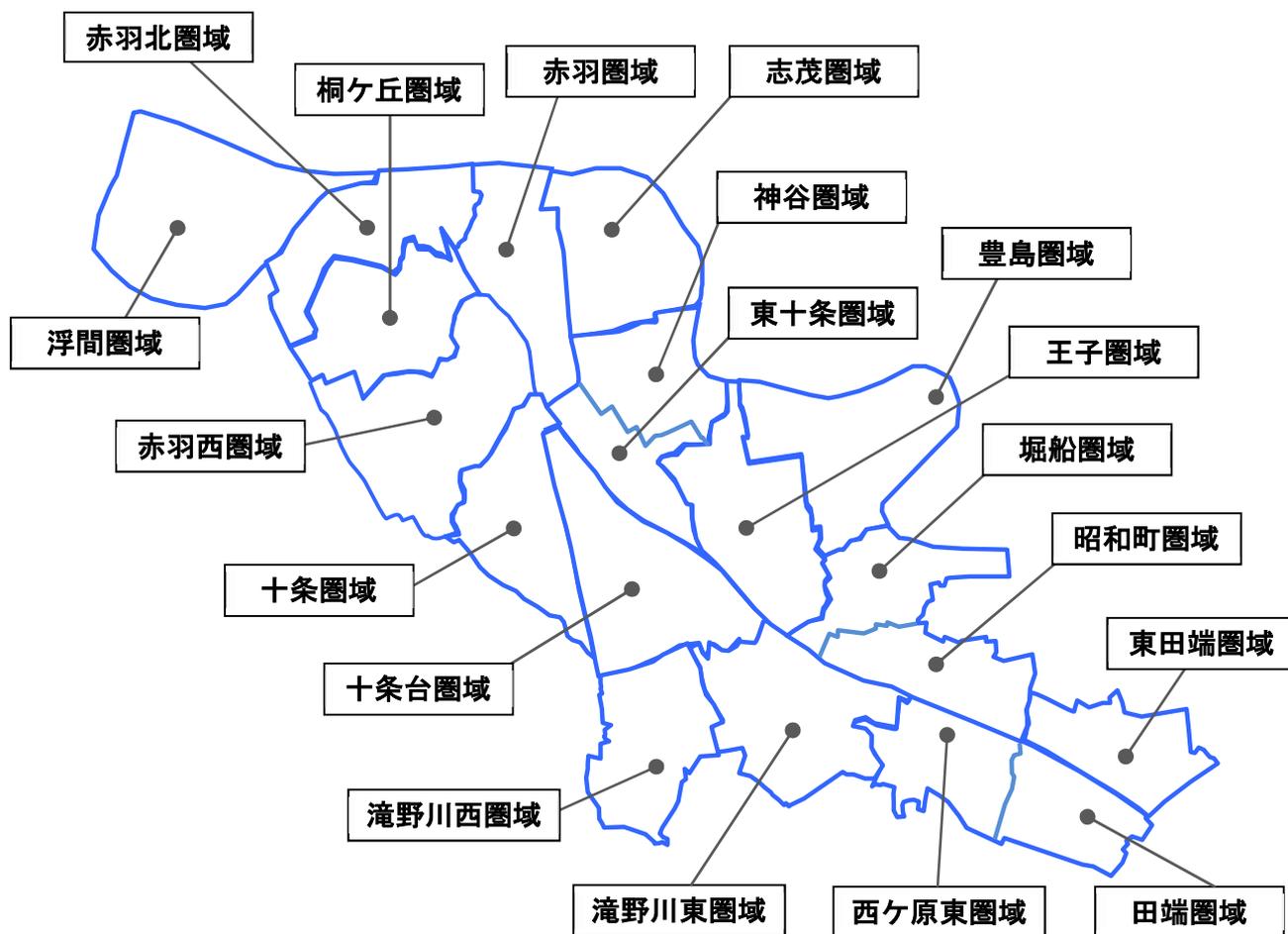
6. 日常生活圏域について

集計にあたっては、地域特性を把握するため、区内を地域振興室の区域に合わせ、19の圏域に分けた日常生活圏域別に区分しました。

	圏域	高齢者あんしんセンター	担当地域
1	十条台	十条台	王子本町1～3丁目、中十条1～4丁目、岸町1～2丁目、十条台1丁目、上十条1丁目
2	王子	王子光照苑	王子1～6丁目、豊島1丁目
3	豊島	豊島	豊島2～8丁目
4	十条	十条	上十条2～5丁目、十条仲原1～4丁目、十条台2丁目
5	東十条	東十条・神谷	東十条1～6丁目
6	神谷		神谷1～3丁目
7	赤羽西	西が丘園	赤羽西1～6丁目（5丁目3～15を除く）、西が丘1～3丁目
8	志茂	みずべの苑	志茂1～5丁目
9	赤羽	赤羽	岩淵町、赤羽1～2丁目、赤羽3丁目1～4、5（2～11）、6（1～9・27～32）、赤羽南1～2丁目
10	赤羽北	赤羽北	赤羽北1～2丁目、3丁目（3～5、16～25を除く）、赤羽台4丁目2～15、17（9・25～65）、18、19、赤羽3丁目5（1・13～15）、6（10～26）、7～29
11	浮間	浮間	浮間1～5丁目
12	桐ヶ丘	桐ヶ丘やまぶき荘	桐ヶ丘1～2丁目、赤羽北3丁目3～5、16～25、赤羽台1～3丁目、4丁目1、16、17（1～8・10～24・66・68）、赤羽西5丁目3～15
13	滝野川西	滝野川西	滝野川3～7丁目
14	滝野川東	飛鳥晴山苑	滝野川1～2丁目、西ヶ原2～4丁目
15	西ヶ原東	滝野川はくちょう	西ヶ原1丁目、上中里1丁目、中里1～3丁目
16	田端		田端1～6丁目
17	昭和町	昭和町・堀船	上中里2～3丁目、昭和町1～3丁目、栄町
18	堀船		堀船1～4丁目
19	東田端	新町光陽苑	田端新町1～3丁目、東田端1～2丁目

日常生活圏域は以下のとおりとなっています。

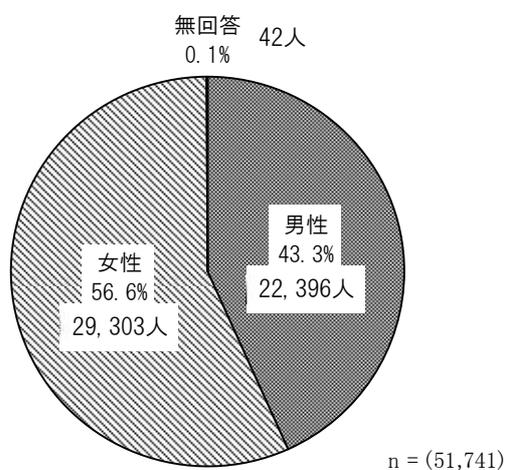
日常生活圏域図



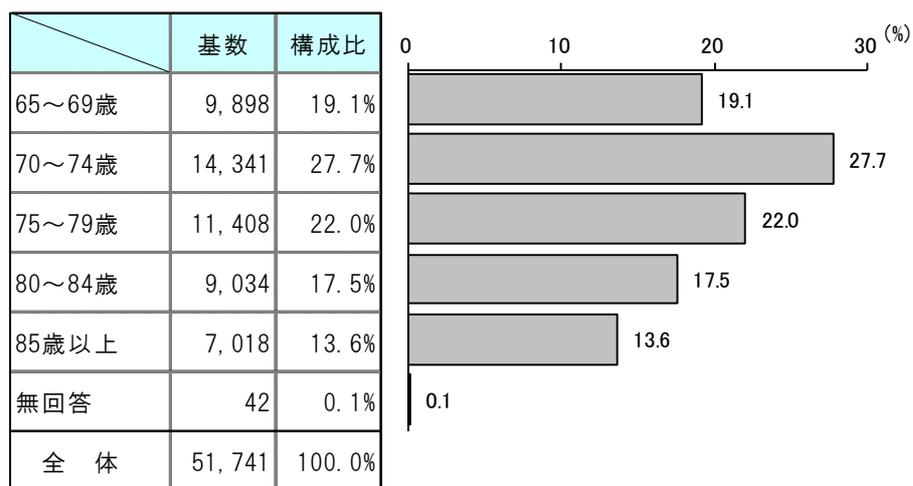
高齢福祉課資料（令和2年10月1日現在）

7. 回答者の属性

(1) 性別

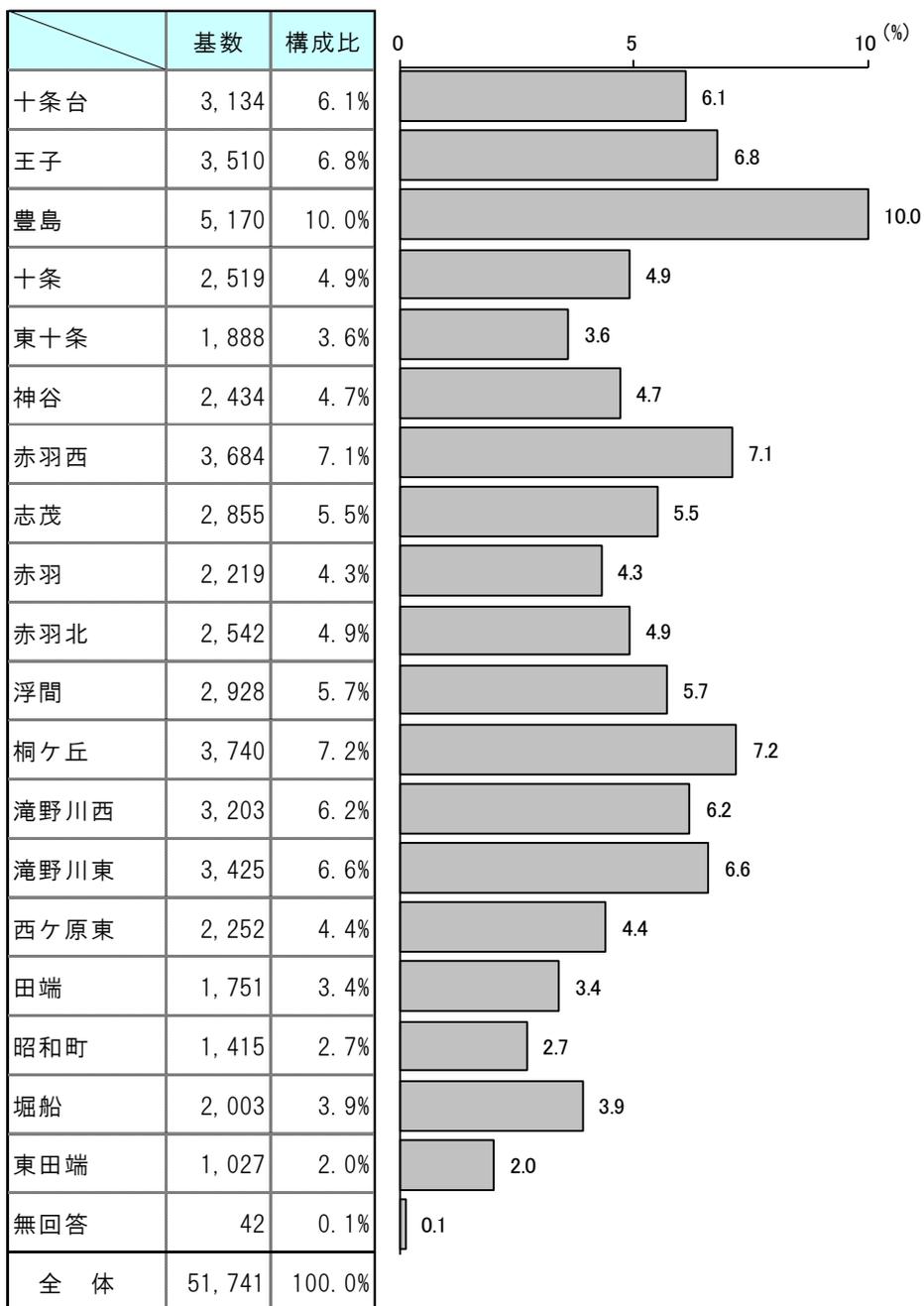


(2) 年齢

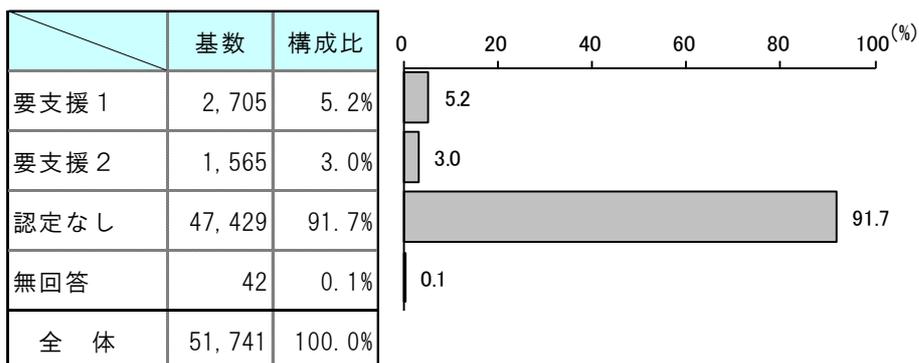


第1章 調査の概要

(3) 日常生活圏域



(4) 介護度



第2章 調査結果の詳細

1. ご本人のこと

(1) 家族構成

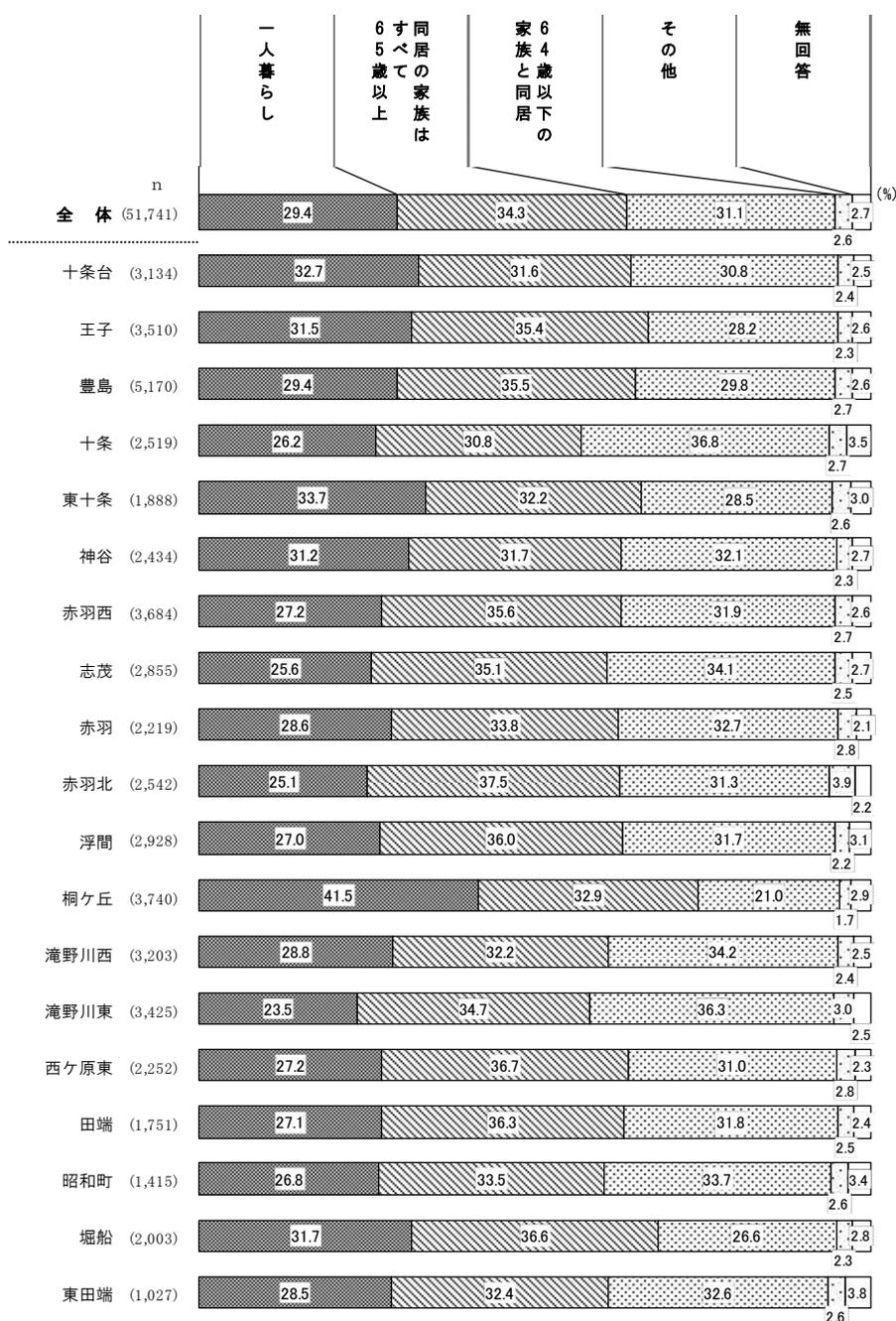
■約3割が「一人暮らし」

問1 家族構成を教えてください。(〇は1つ)

家族構成では、「同居の家族はすべて65歳以上」が34.3%で最も高いものの、「64歳以下の家族と同居」は31.1%、「一人暮らし」は29.4%となっています。

日常生活圏域別にみると、「桐ヶ丘」で「一人暮らし」が41.5%と最も高く、最も低い「滝野川東」(23.5%)とは18ポイント差があります。また、その「滝野川東」と「十条」では、「64歳以下の家族と同居」が3割台後半とやや高くなっています。

〈日常生活圏域別／家族構成〉

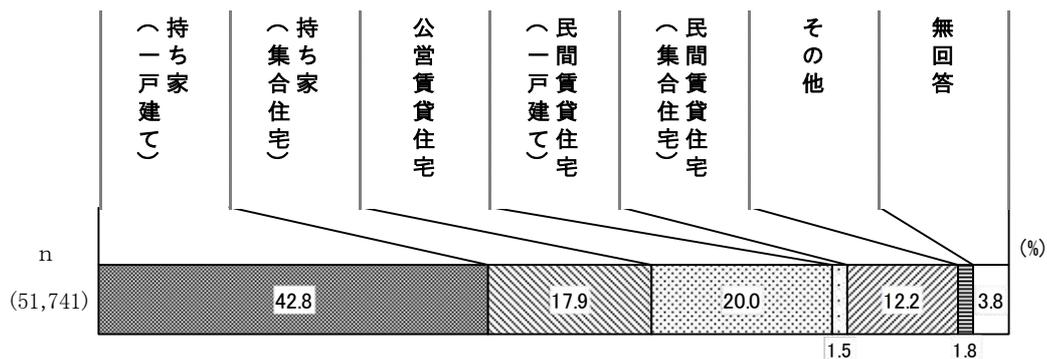


(2) 住居形態

■ 「持ち家（一戸建て）」が4割前半

問5 どのような住宅にお住まいですか。(〇は1つ)

住居形態では、「持ち家（一戸建て）」が42.8%で最も高く、「公営賃貸住宅」は20.0%、「持ち家（集合住宅）」は17.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は12.2%となっています。



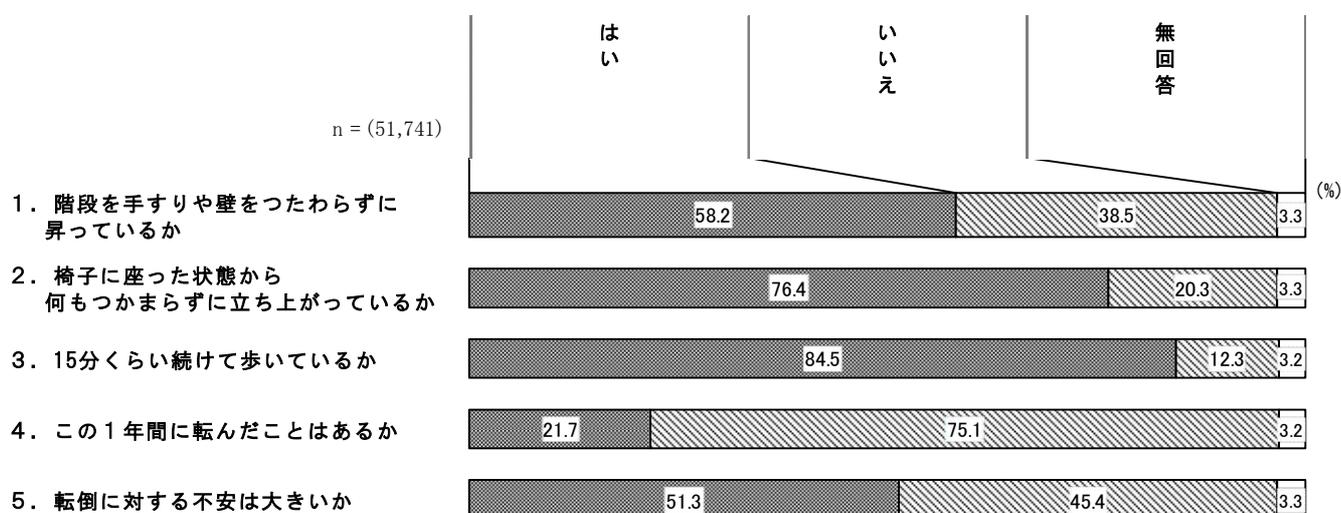
2. 日常生活

(1) 歩行や転倒

■ 《運動器機能低下リスク》があると思われる人は22.1%

問8 あなたの歩行や転倒についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

歩行や転倒に関して各項目をきいたところ、運動器機能の低下につながる回答は、【階段を手すりなど無しで昇る】が38.5%、【椅子から何もつかまらず立ち上がる】が20.3%、【15分程度の歩行】が12.3%、【この1年間で転んだこと】が21.7%、【転倒に対する不安】が51.3%となっています。

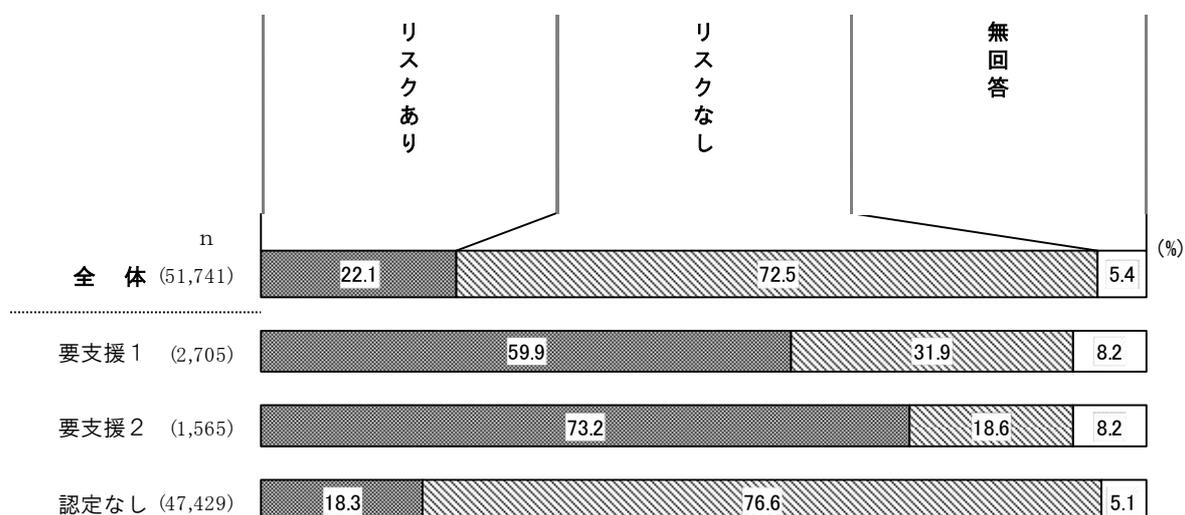


◎運動器機能低下リスク

上記5項目のうち3項目以上で「はい」と回答した方を「リスクあり」と判定すると、全体の22.1%が該当しています。

運動器機能低下リスクを介護度別で見ると、「リスクあり」が“要支援2”で73.2%、“要支援1”で59.9%と、「認定なし」(18.3%)よりも非常に高くなっています。

〈介護度別／運動器機能低下リスク〉



3. 健康

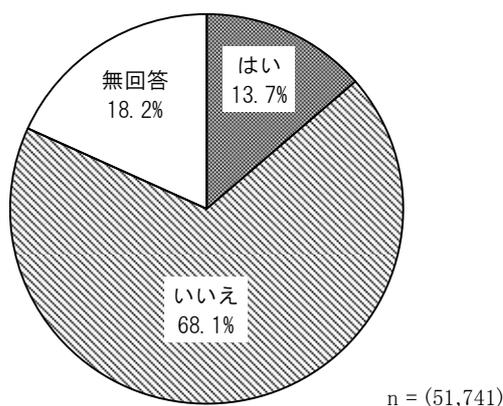
(1) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少

■この半年で2～3kg以上の体重減少があった人は約14%

問9 あなたの栄養や食事等についてお答えください。

1) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

6カ月間で2～3kg以上の体重減少があったという人は13.7%となっています。



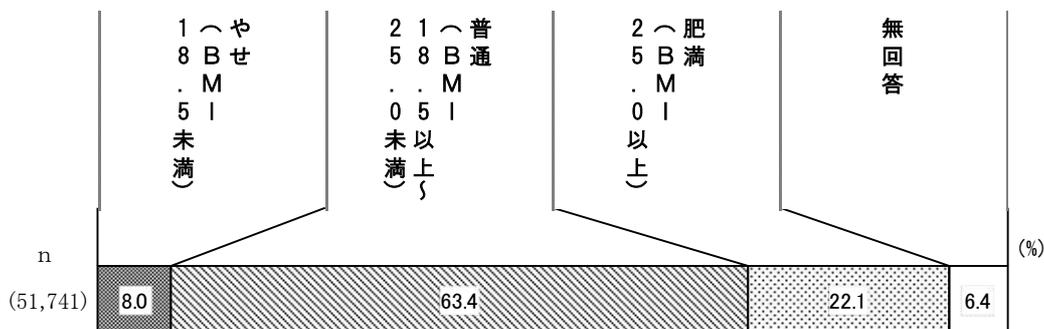
(2) 身長・体重

■BMIでみると、「肥満」22.1%、「やせ」8.0%

問9 2) 身長・体重をご記入ください。

身長と体重から算出される肥満度を表す体格指数をBMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) といい、「普通 (BMI 18.5以上～25.0未満)」が63.4%で最も高く、「肥満 (BMI 25.0以上)」は22.1%、「やせ (BMI 18.5未満)」は8.0%となっています。

■BMI

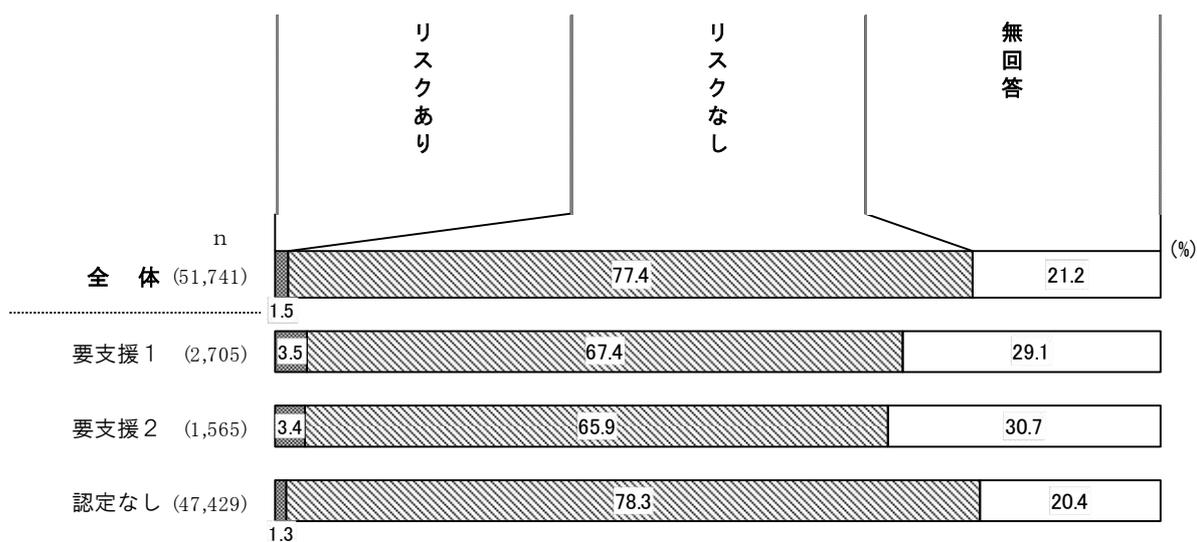


◎低栄養リスク

6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少があり、かつBMIで「やせ（BMI 18.5未満）」判定が出た方を「低栄養リスクあり」とし、全体の1.5%が該当しています。

介護度別でみると、“要支援1”“要支援2”では、低栄養「リスクあり」が3%を超えています。

〈介護度別／低栄養リスク〉



(3) 口腔機能

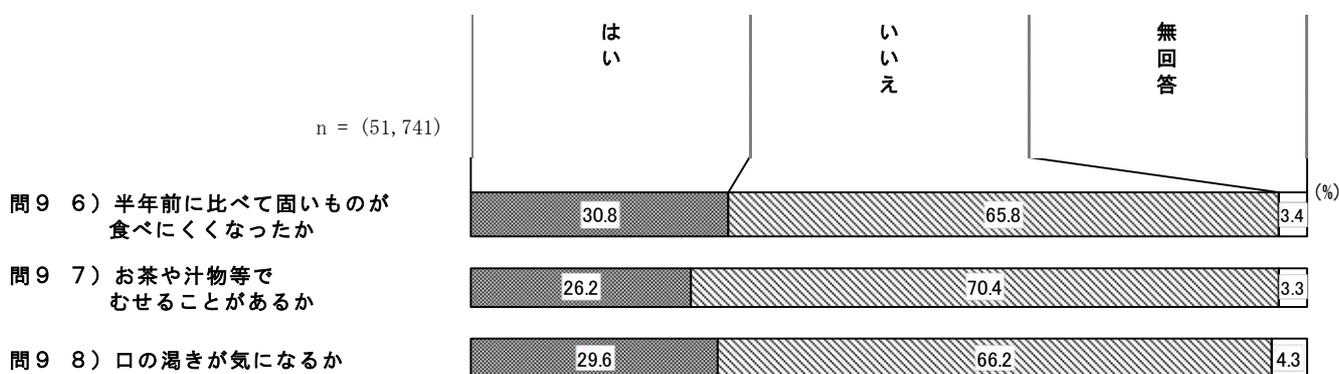
■半年前より固いものが食べにくくなった人、口の渇きが気になる人は、ともに約3割

問9 6) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)
問9 7) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)
問9 8) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかをきいたところ、「はい」が30.8%、「いいえ」が65.8%となっています。

お茶や汁物等でむせることがあるかきいたところ、「はい」が26.2%、「いいえ」が70.4%となっています。

口の渇きが気になるかきいたところ、「はい」が29.6%、「いいえ」が66.2%となっています。

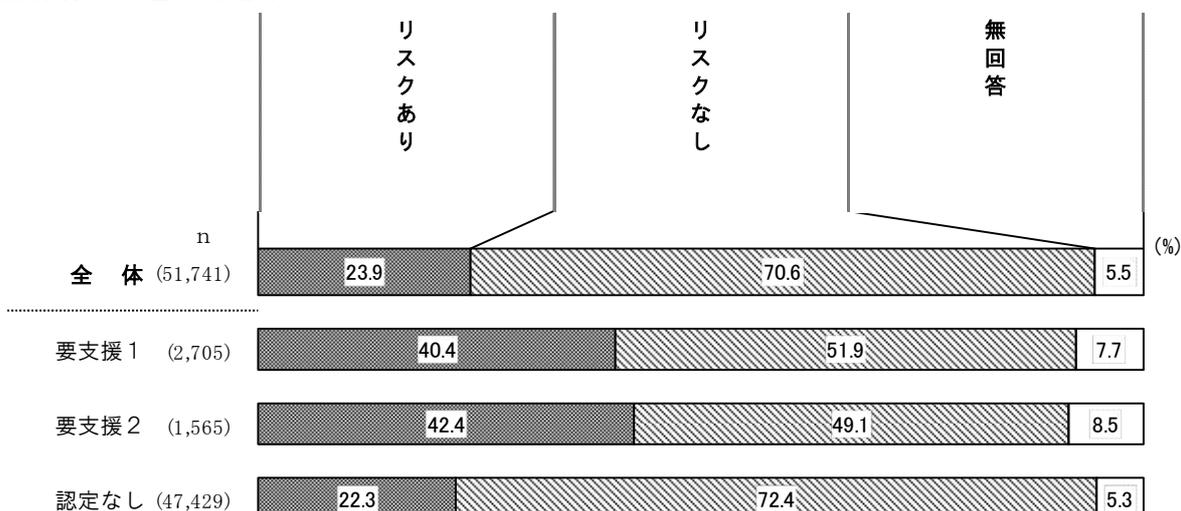


◎口腔機能低下リスク

問9の6) 半年前と比較した固いものの食べにくさ、同7) お茶や汁物等でむせること、同8) 口の渇きへの懸念の3項目中2項目で「はい」と回答した方を「口腔機能低下リスクあり」と判定すると、全体の23.9%が該当しています。

介護度別でみると、“要支援1”“要支援2”で《リスクあり》が4割台となっています。

〈介護度別／口腔機能低下リスク〉

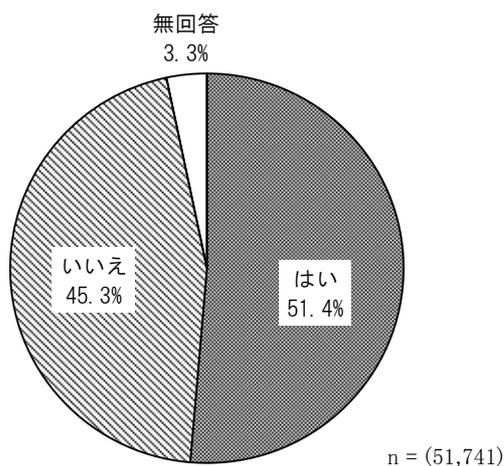


(4) 昨年と比較した外出頻度の減少

■昨年より外出が減っている人は5割強

問10 4) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかきいたところ、「はい」が51.4%、「いいえ」は45.3%となっています。

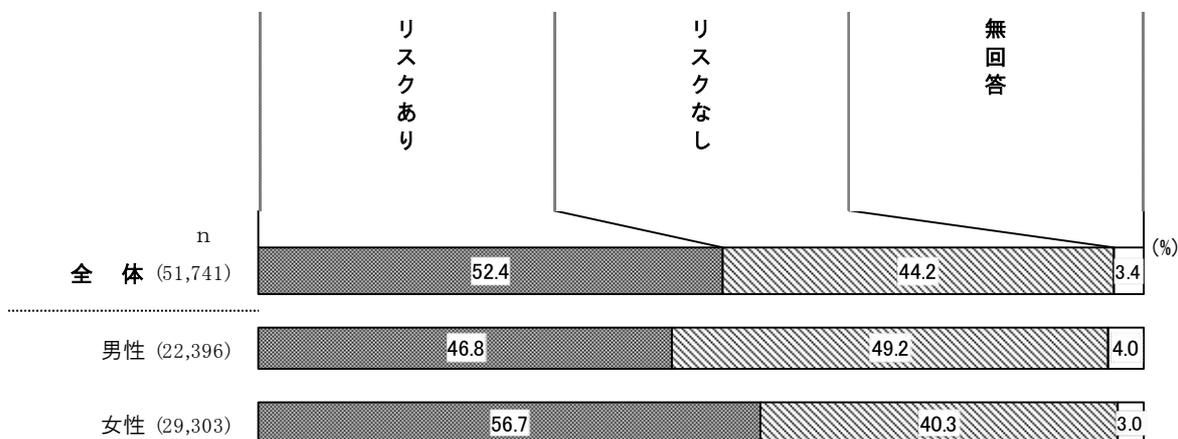


◎閉じこもりリスク

問10の1) 外出頻度で《週1回以下》、かつ同4) 昨年と比較した外出頻度の減少で「はい」と回答した方を「閉じこもりリスクあり」と判定し、全体の52.4%が該当しています。

性別でみると、女性で「リスクあり」が56.7%と男性(46.8%)より9.9ポイント高くなっています。

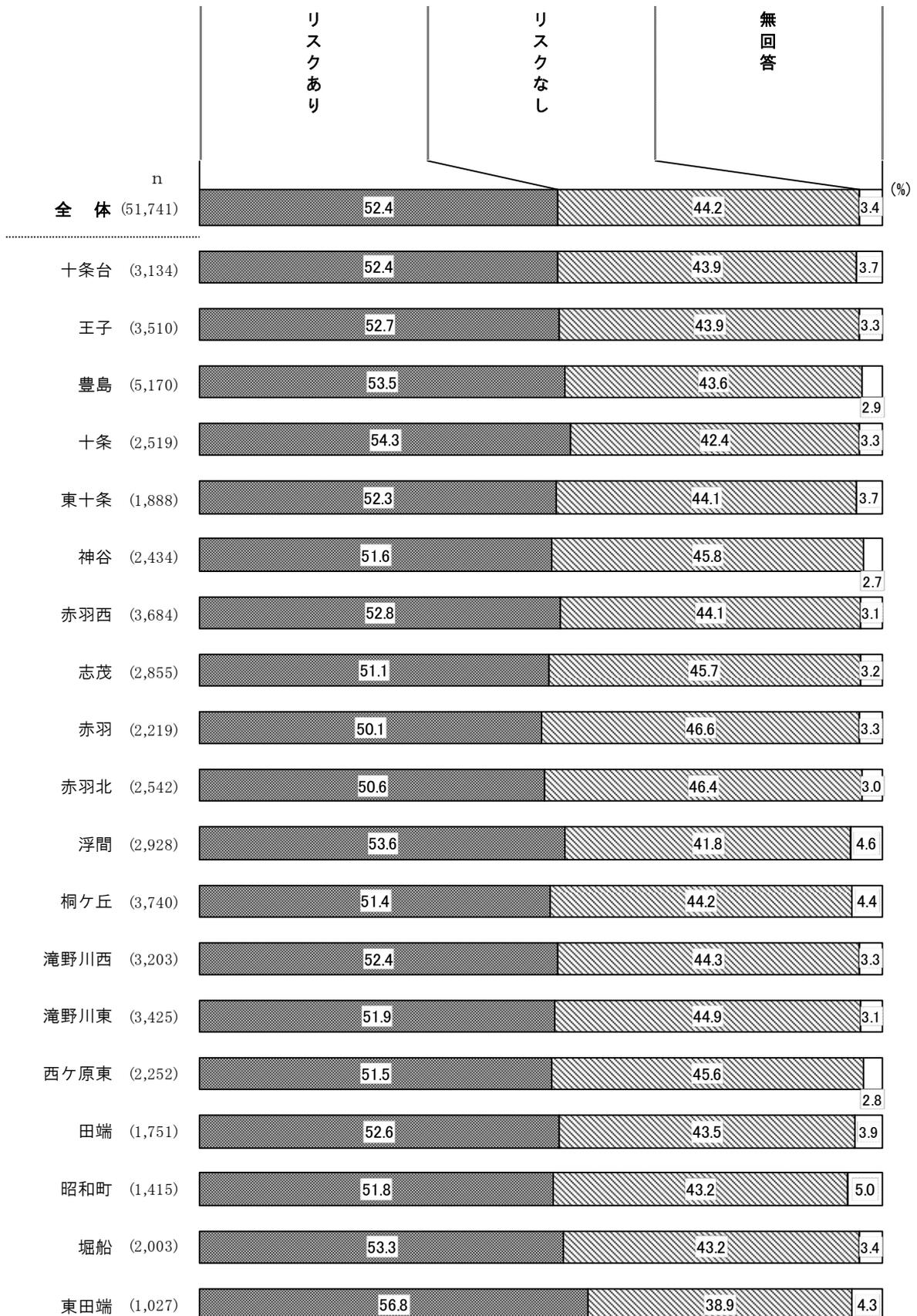
〈性別／閉じこもりリスク〉



第2章 調査結果の詳細

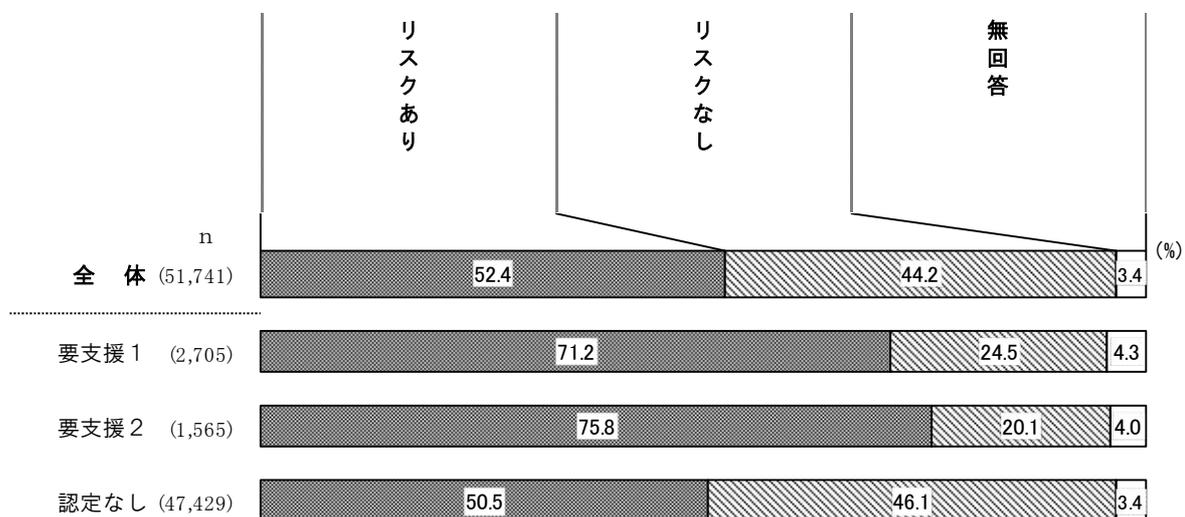
日常生活圏域別で見ると、“東田端”で「リスクあり」が56.8%と唯一5割台後半となっています。

〈日常生活圏域別／閉じこもりリスク〉



介護度別でみると、閉じこもり「リスクあり」は、“要支援2”“要支援1”でそれぞれ75.8%、71.2%を占めています。一方、“認定なし”では「リスクあり」は50.5%にとどまっています。

〈介護度別／閉じこもりリスク〉



(5) 認知機能

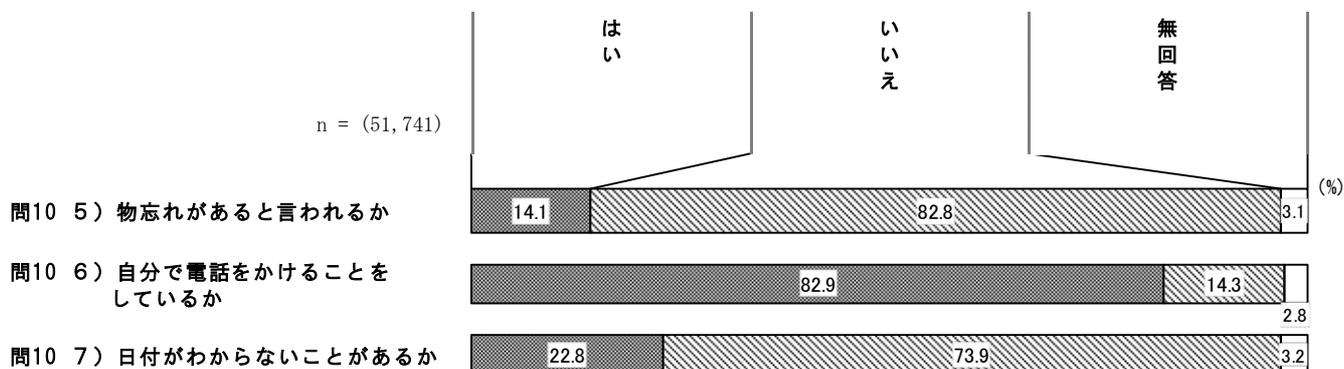
■ 今日の日付をわからないときがあるという人は22.8%

問10 5) 周りの人から「いつも同じことを聞く」等の物忘れがあるとされますか。(○は1つ)
問10 6) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)
問10 7) 今日が何月何日かわからないときがありますか。(○は1つ)

周りの人から物忘れがあるとされるかをきいたところ、「はい」が14.1%、「いいえ」が82.8%となっています。

自分で電話番号を調べ、かけることをしているかきいたところ、「はい」が82.9%、「いいえ」が14.3%となっています。

今日の日付をわからないときがあるかきいたところ、「はい」が22.8%、「いいえ」が73.9%となっています。

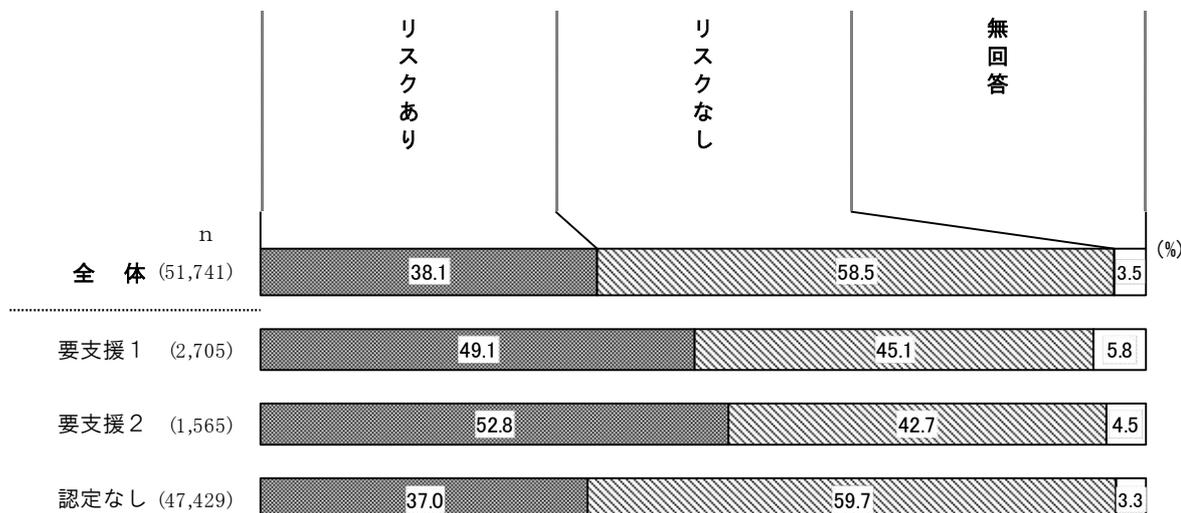


◎ 認知機能低下リスク

問10の5) 物忘れがあるとされるで「はい」、同6) 自ら電話番号を調べ、かけることで「いいえ」、同7) 日付がわからないことで「はい」に、いずれかひとつでも回答した方を、「認知機能低下リスクあり」と判定し、全体の38.1%が該当しています。

介護度別でみると、“要支援1”“要支援2”で「リスクあり」が5割前後で高くなっています。

〈介護度別／認知機能低下リスク〉



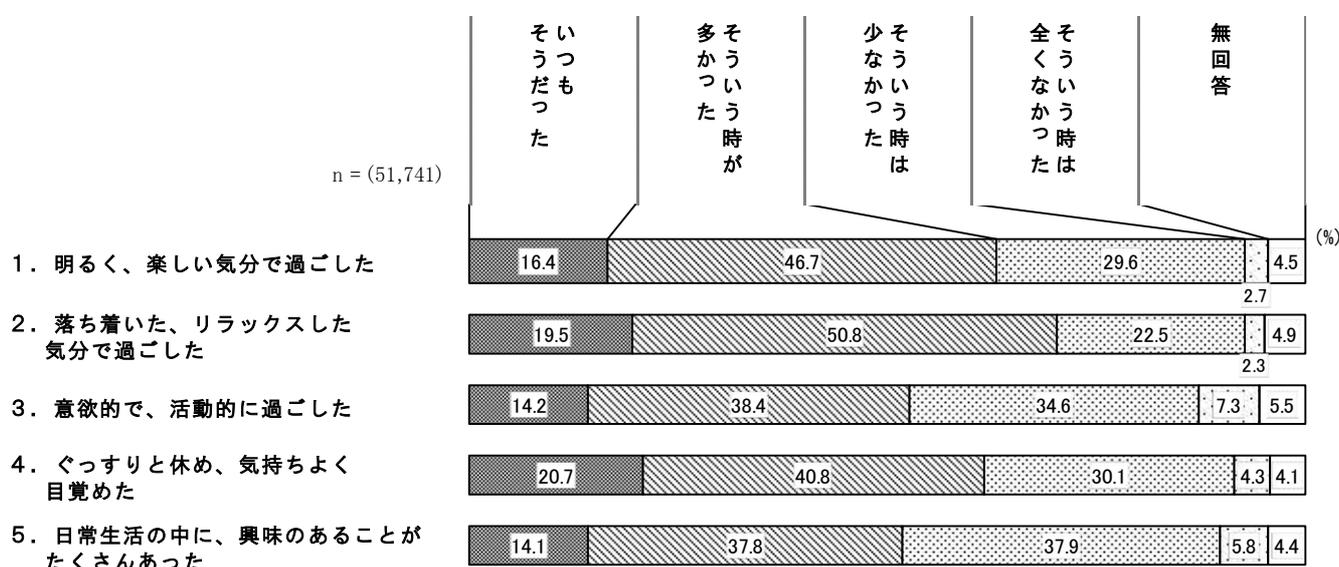
4. こころの健康

(1) 最近2週間の気持ちや心の状態

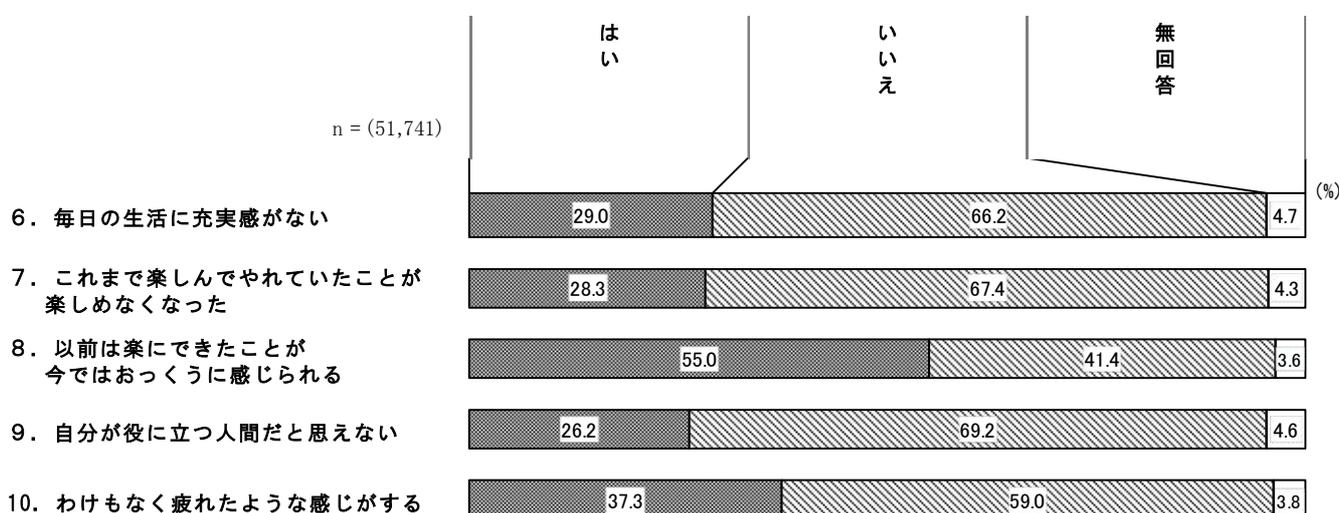
■【以前は楽にできたことがおっくうに感じられる】という人は半数を超える

問11 最近2週間のあなたの気持ちや心の状態にもっともあてはまる回答をお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

最近2週間の気持ちや心の状態についてきき、「いつもそうだった」と「そういう時が多かった」を合わせた《そうだった》は、【明るく楽しい気分で過ごした】は63.1%、【落ち着いた、リラックスした気分で過ごした】は70.3%、【意欲的、活動的に過ごした】は52.6%、【気持ちよく目覚めた】は61.5%、【興味のあることがたくさんあった】は51.9%となっています。



同様に下記5項目もできいたところ、「はい」は【生活に充実感がない】は29.0%、【楽しんでやれていたことが楽しめなくなった】は28.3%、【以前は楽にできたことがおっくうに感じられる】は55.0%、【自分が役に立つ人間だと思えない】は26.2%、【疲れたような感じがする】37.3%となっています。

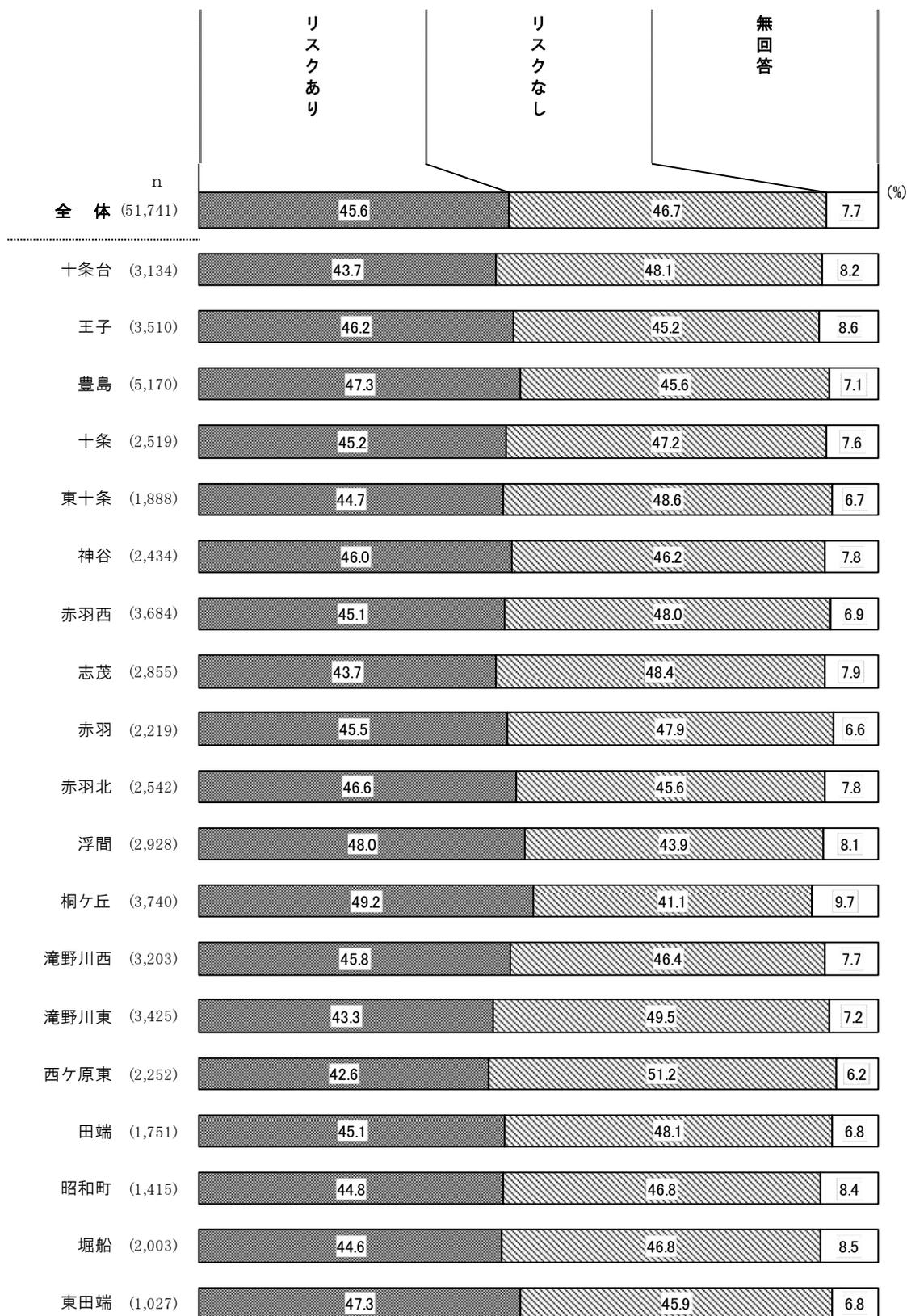


◎うつ傾向リスク

問11の6～10の5項目中2項目以上で「はい」と回答された方は、「うつ傾向リスクあり」と判定され、全体の45.6%が該当しています。

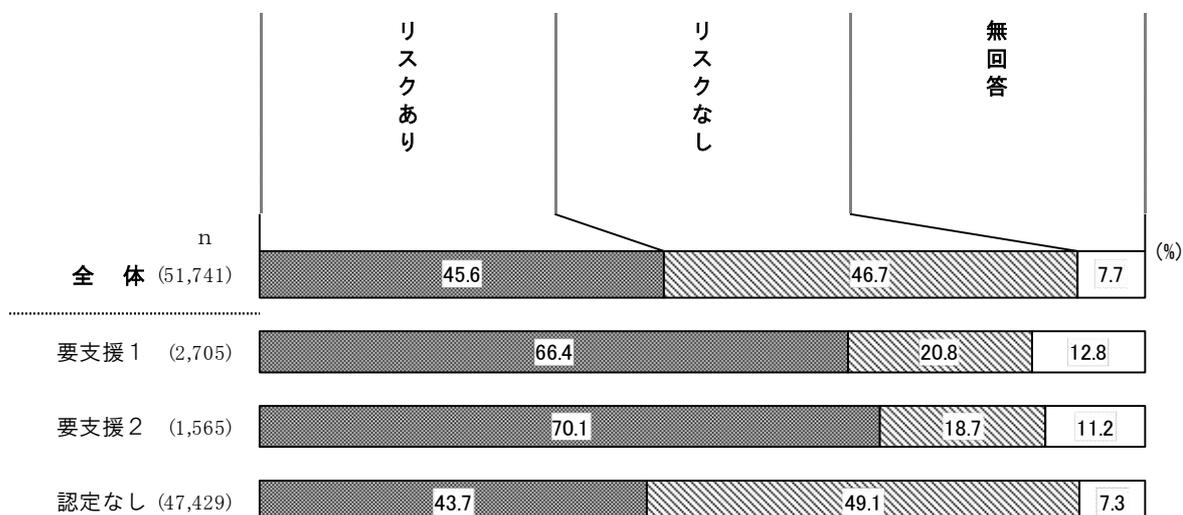
日常生活圏域別でみると、「リスクあり」が最も高い“桐ヶ丘”で半数に近い値を示しています。

〈日常生活圏域別／うつ傾向リスク〉



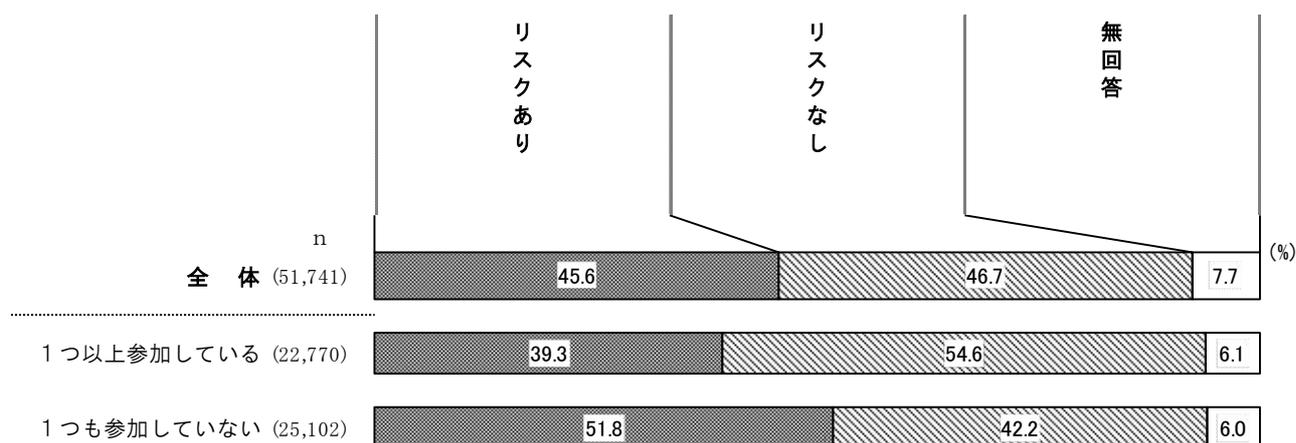
介護度別でみると、“要支援2”“要支援1”でうつ傾向「リスクあり」が、それぞれ70.1%、66.4%となっています。一方、“認定なし”では43.7%にとどまっています。

〈介護度別／うつ傾向リスク〉



活動への参加状況別でみると、“1つ以上参加している”層で「リスクあり」が39.3%なのに対し、“1つも参加していない”層では51.8%となっています。

〈活動への参加状況別／うつ傾向リスク〉



(2) 健康状態

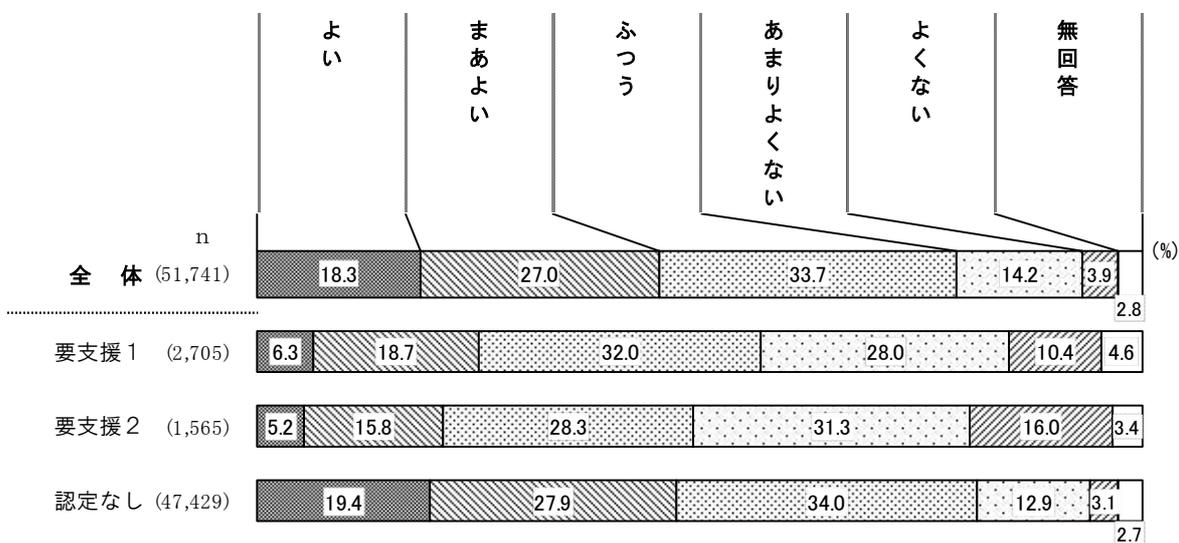
■ 《よい》45.3%、《よくない》18.1%

問11 11) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

健康状態としては、「ふつう」が33.7%で最も高く、「よい」(18.3%)と「まあよい」(27.0%)を合わせた《よい》は45.3%、「よくない」(3.9%)と「あまりよくない」(14.2%)を合わせた《よくない》は18.1%となっています。

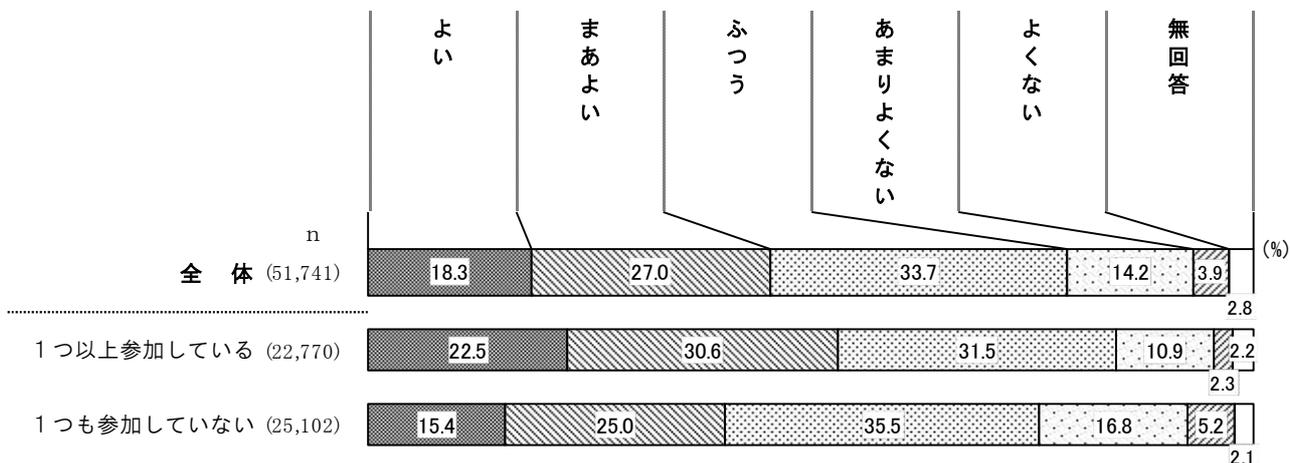
介護度別でみると、“要支援2”“要支援1”で《よくない》がそれぞれ47.3%、38.4%と高く、逆に“認定なし”では《よい》が47.3%となっています。

〈介護度別／健康状態〉



活動への参加状況別でみると、《よい》は“1つ以上参加している”層で53.1%なのに対し、“1つも参加していない”層では40.4%となっています。

〈活動への参加状況別／健康状態〉



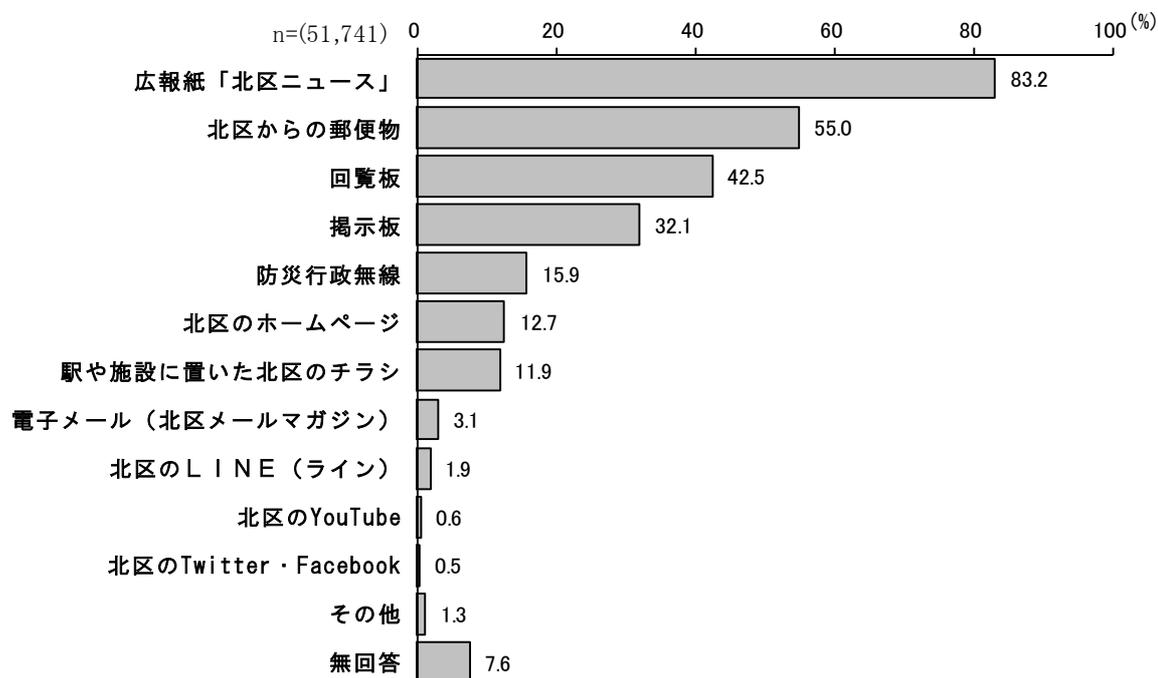
5. 通信手段

(1) 普段から見聞きしている情報媒体

■ 最多は「広報紙『北区ニュース』」の8割台半ば

問13 北区では下記の方法で情報を発信しています。普段から見聞きしているものはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

普段から見聞きしている情報媒体としては、「広報紙『北区ニュース』」が83.2%を占めて最も高く、以下「北区からの郵便物」(55.0%)、「回覧板」(42.5%)、「掲示板」(32.1%)と続いています。



6. 交流

(1) 近所付き合いの程度

■「あいさつをする程度」31.1%、「立ち話をする程度」27.4%がやや高くなるも、《たすけあえる関係》で23.9%

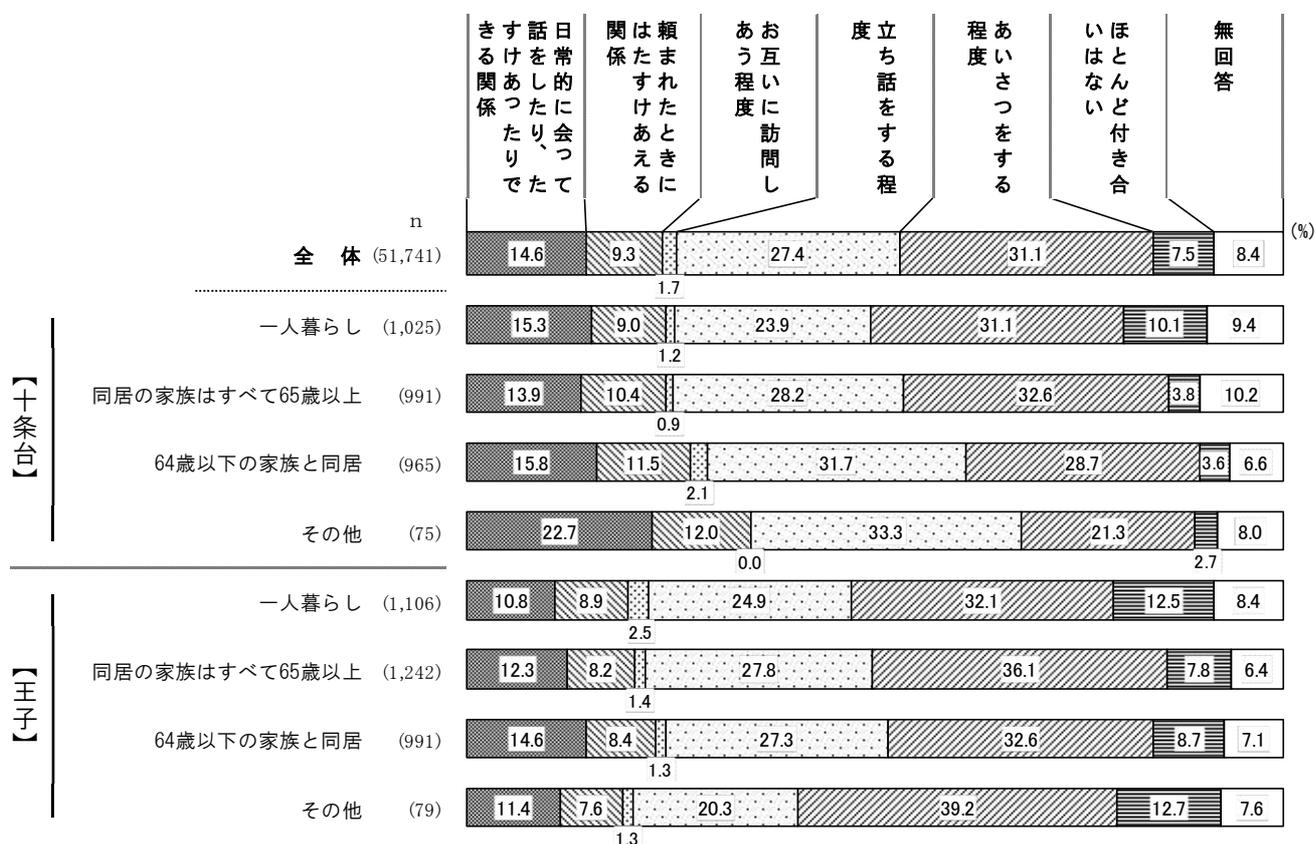
問15 ご近所の方との程度付き合いをしていますか。(○は1つ)

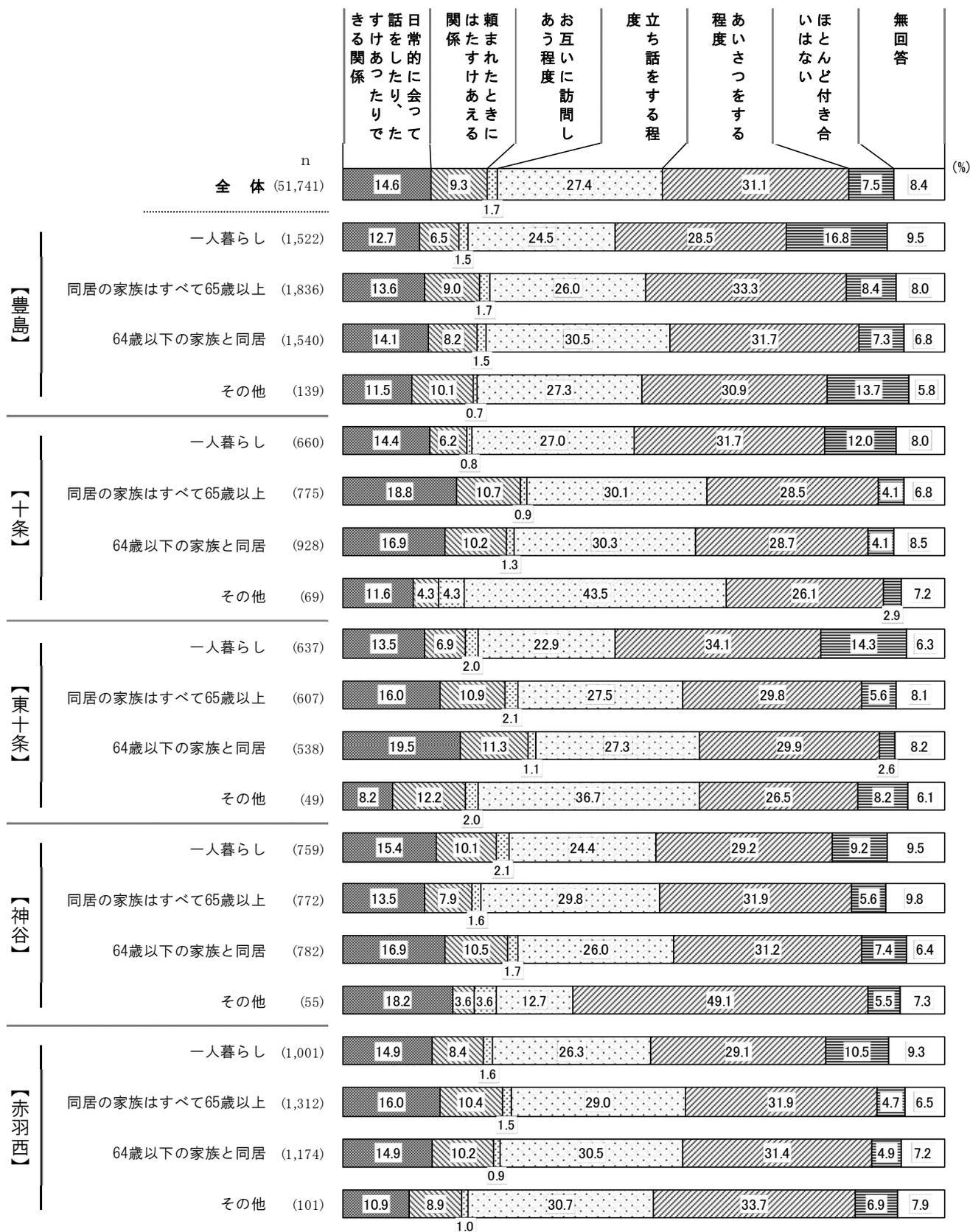
近所付き合いの程度をきいたところ、全体では「あいさつをする程度」が31.1%、「立ち話をする程度」が27.4%と高くなっています。また、「日常的に会って話をしたり、たすけあったりできる関係」(14.6%)と「頼まれたときにはたすけあえる関係」(9.3%)を合わせた《たすけあえる関係》は23.9%となっています。一方、「ほとんど付き合いはない」は7.5%となっています。

日常生活圏域・家族構成別でみると、《たすけあえる関係》は、“東十条/64歳以下の家族と同居”、“堀船/一人暮らし”、“十条/同居の家族はすべて65歳以上”で3割前後と高くなっています。また、“赤羽”では家族構成を問わず《たすけあえる関係》がやや低くなっていることも分かります。一方、「ほとんど付き合いがない」は“豊島”、“東十条”の“一人暮らし”が、それぞれ16.8%、14.3%とやや高く、“田端”、“志茂”、“王子”、“赤羽”、“昭和町”の“一人暮らし”でもやや高くなっていることがわかります。

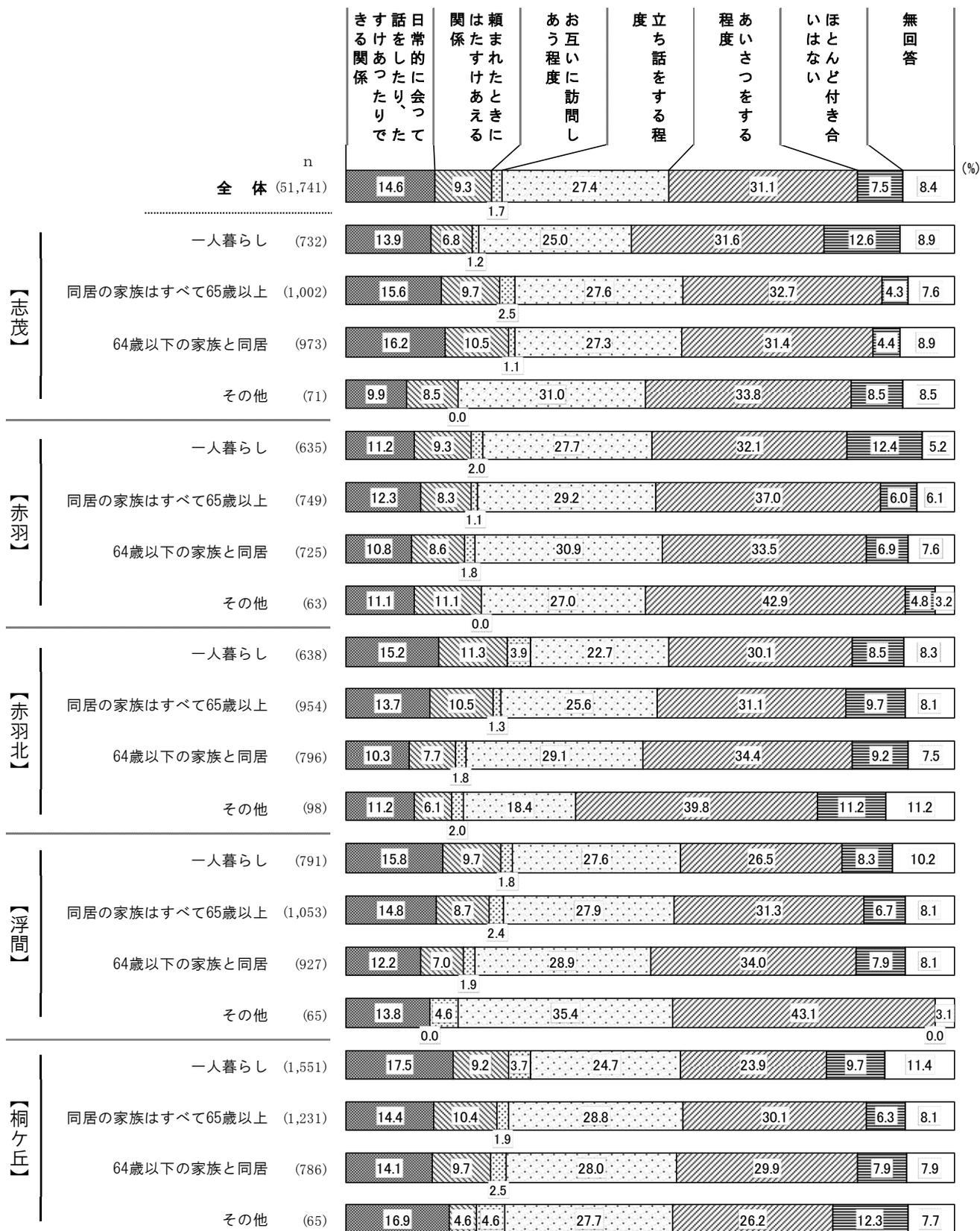
※各地域の「その他」は参考掲載とし、ここでは述べていません。

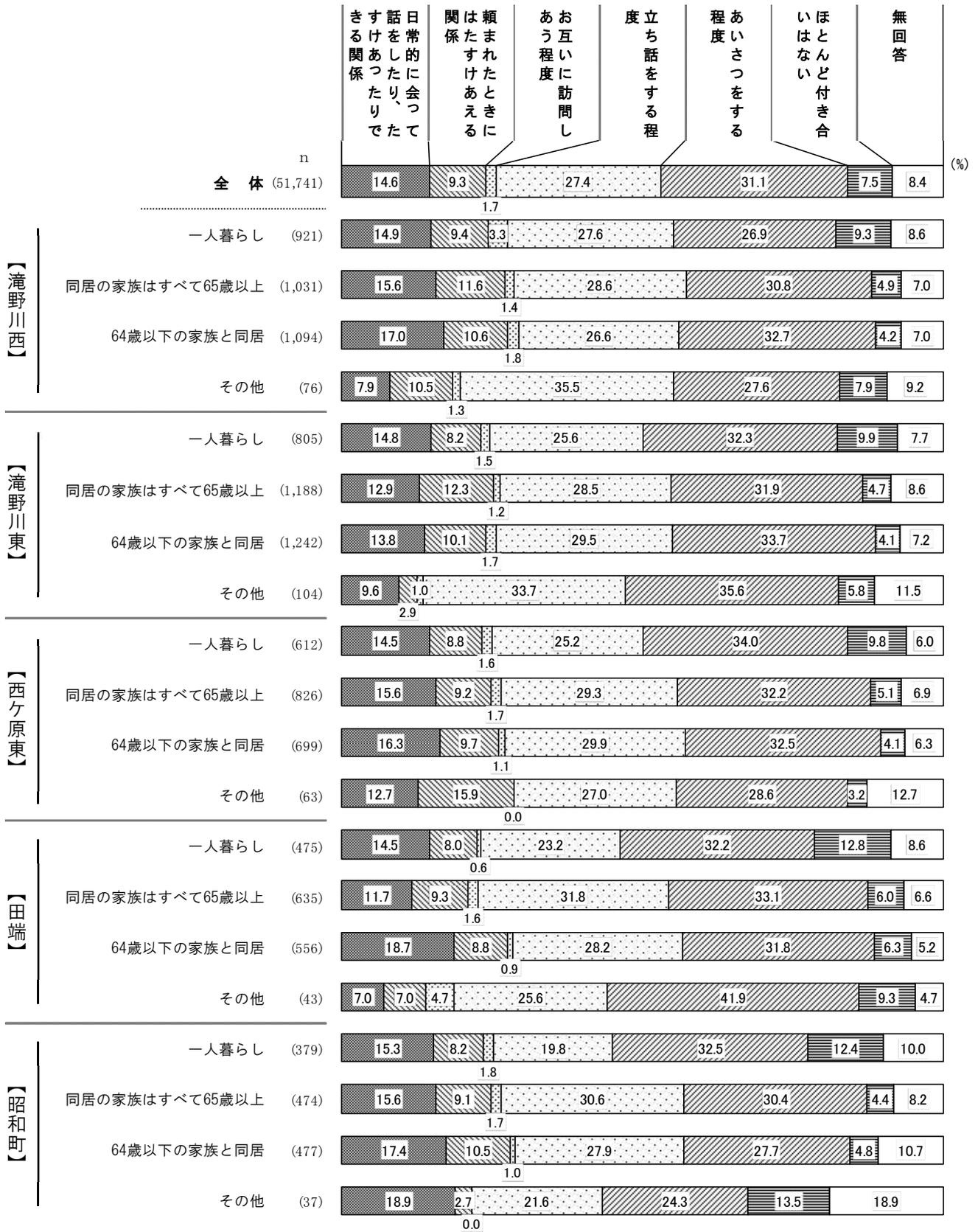
〈日常生活圏域・家族構成別/近所付き合いの程度〉

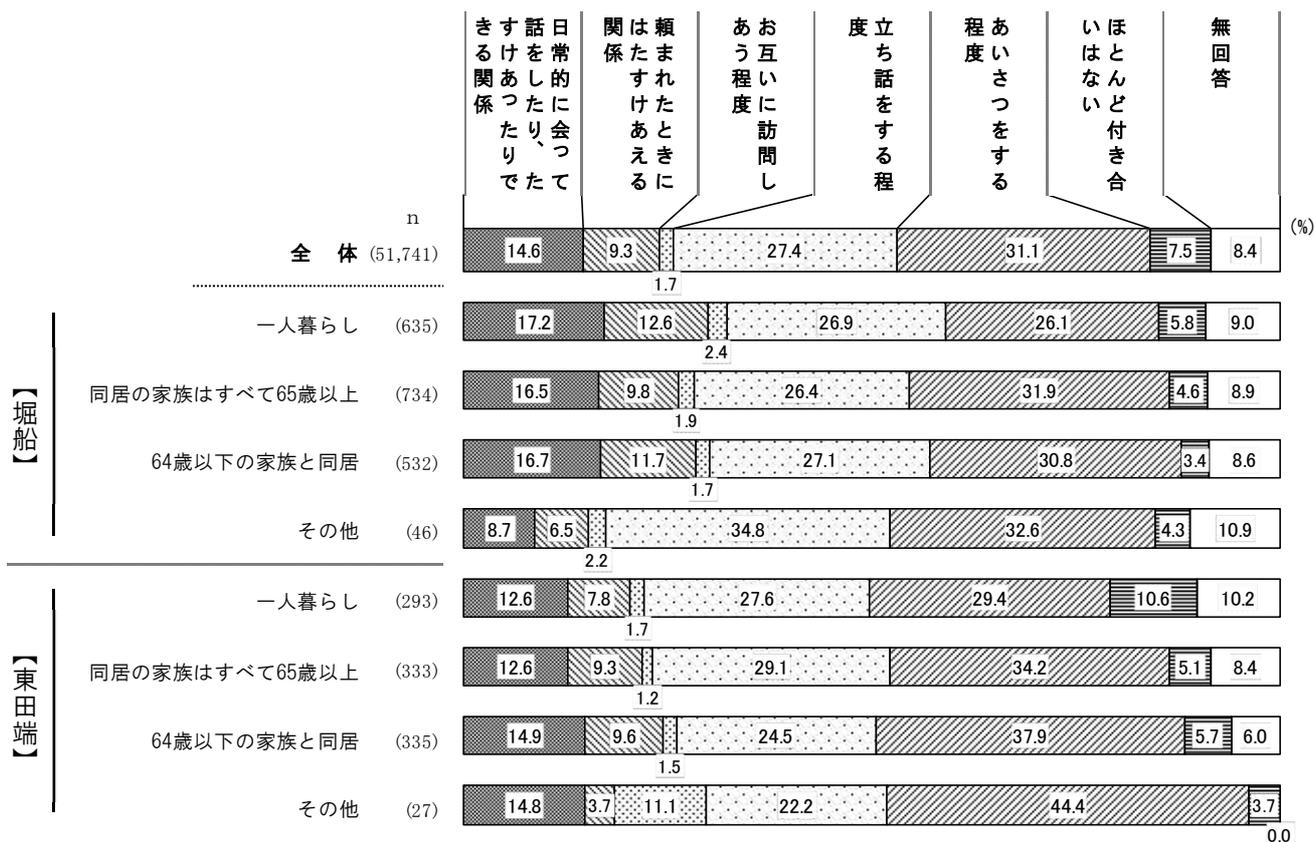




第2章 調査結果の詳細





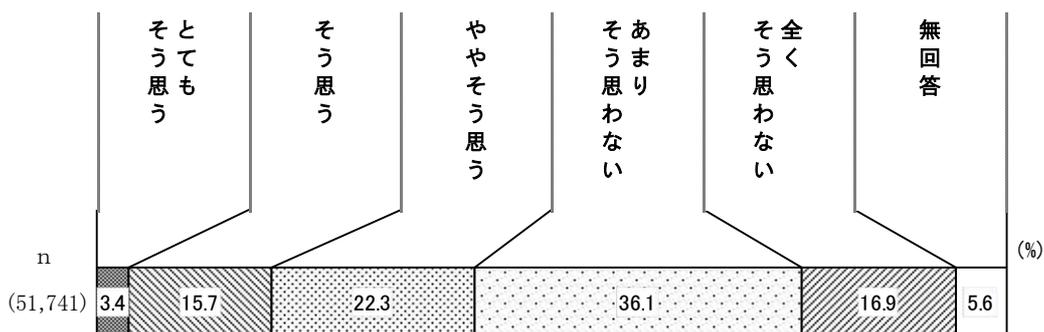


(2) 地域の人から頼りにされたりしていると思うか

■ 《思う》 19.1% に対して 《思わない》 53.0%

問18 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの分担、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願い事等) (○は1つ)

地域の人から頼りにされたりしていると思うかをきいたところ、「あまりそう思わない」が36.1%で最も高く、「全くそう思わない」(16.9%)を合わせた《思わない》としては53.0%になっています。一方、「そう思う」(15.7%)と「とてもそう思う」(3.4%)を合わせた《思う》は19.1%となっています。



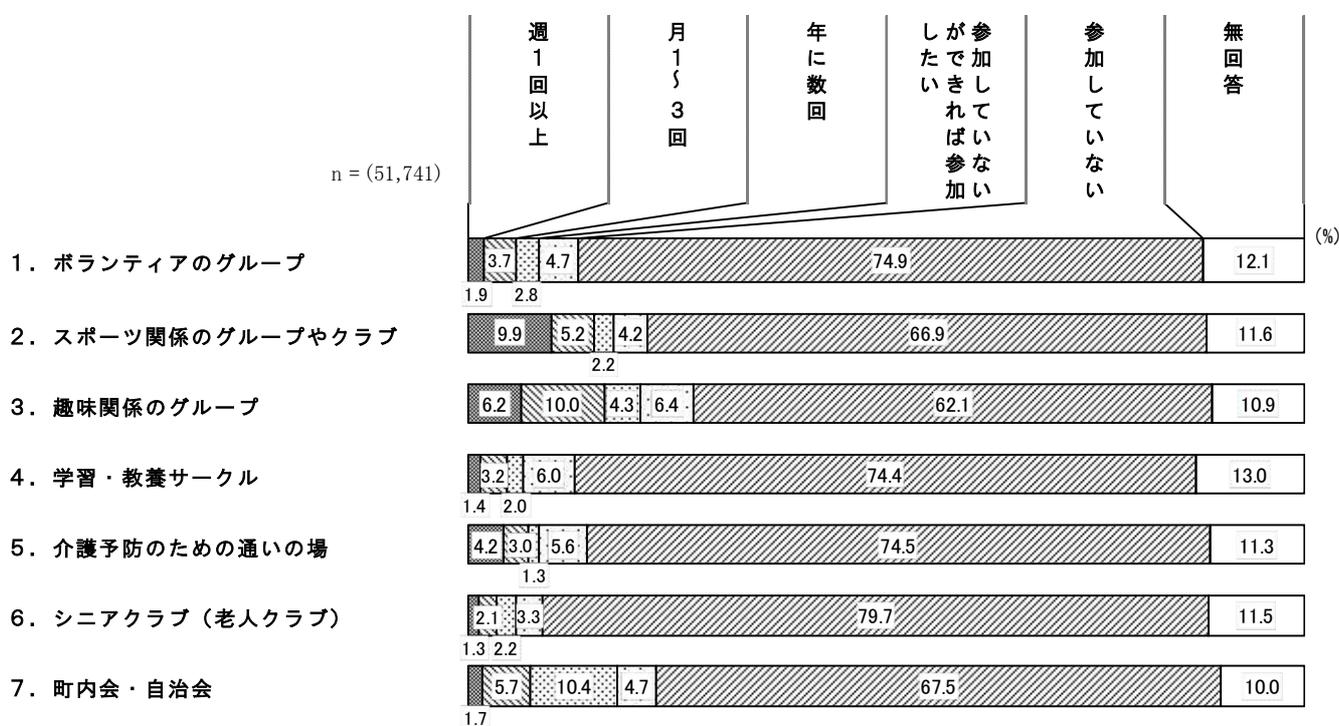
7. 地域活動

(1) 活動への参加頻度

■【趣味関係のグループ】で《参加している》が約2割

問20 以下のような会・グループ・集まりに、どのくらいの頻度で参加しましたか。
(○はそれぞれ1つずつ)

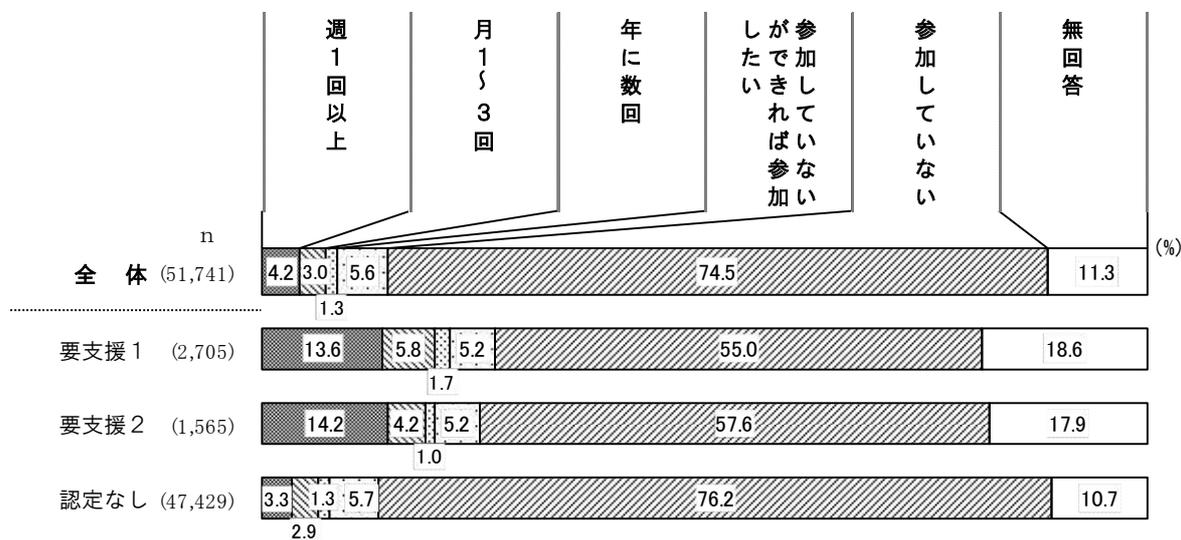
各活動への参加頻度をきいたところ、「週1回以上」から「年に数回」までを合わせた《参加している》は、【趣味関係のグループ】が20.5%で他項目より高く、以下【町内会・自治会】(17.8%)、【スポーツ関係のグループやクラブ】(17.3%)と続いています。また、【スポーツ関係のグループやクラブ】では「週1回以上」が9.9%と、他項目より高頻度なことがわかります。



第2章 調査結果の詳細

【介護予防のための通いの場】を介護度別で見ると、“要支援1”“要支援2”で「週1回以上」が1割台半ばと“認定なし”より高くなっています。

〈介護度別／活動への参加頻度／介護予防のための通いの場〉

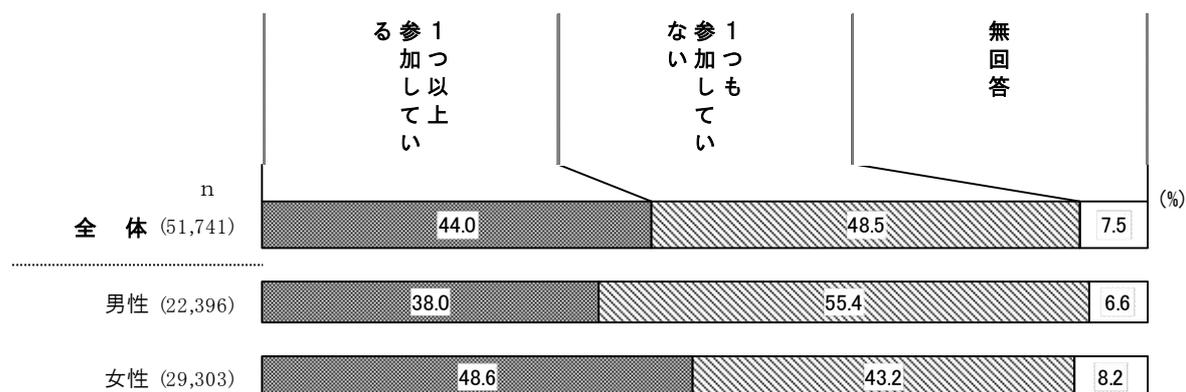


◎活動への参加状況

問20の7項目中1つでも参加している人は、全体の44.0%となっています。

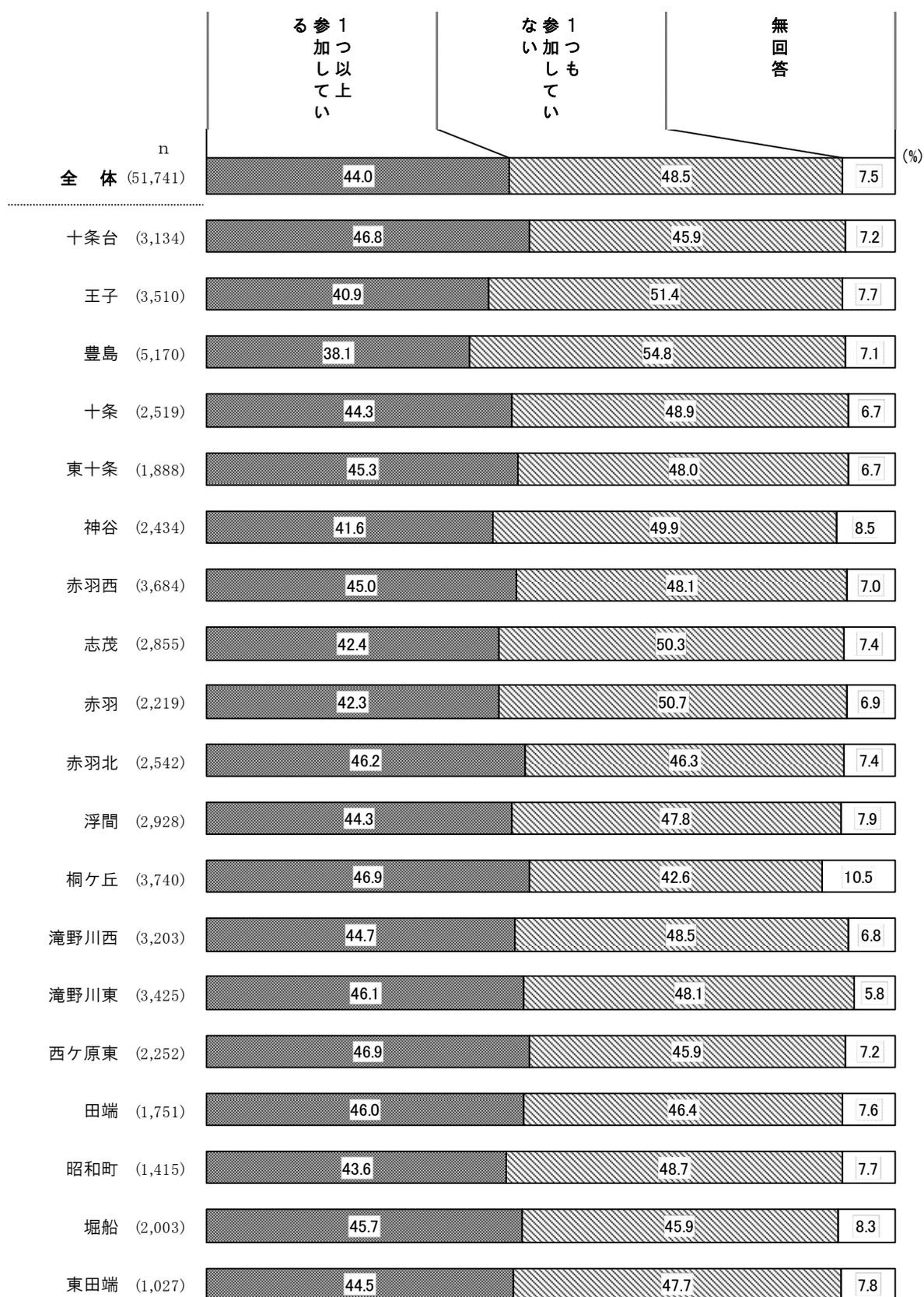
性別で見ると、女性の48.6%が「1つ以上参加している」とし、男性（38.0%）より10.6ポイント高くなっています。

〈性別／活動への参加状況〉



日常生活圏域別でみると、“豊島”（38.1%）が唯一3割台で低くなっています。

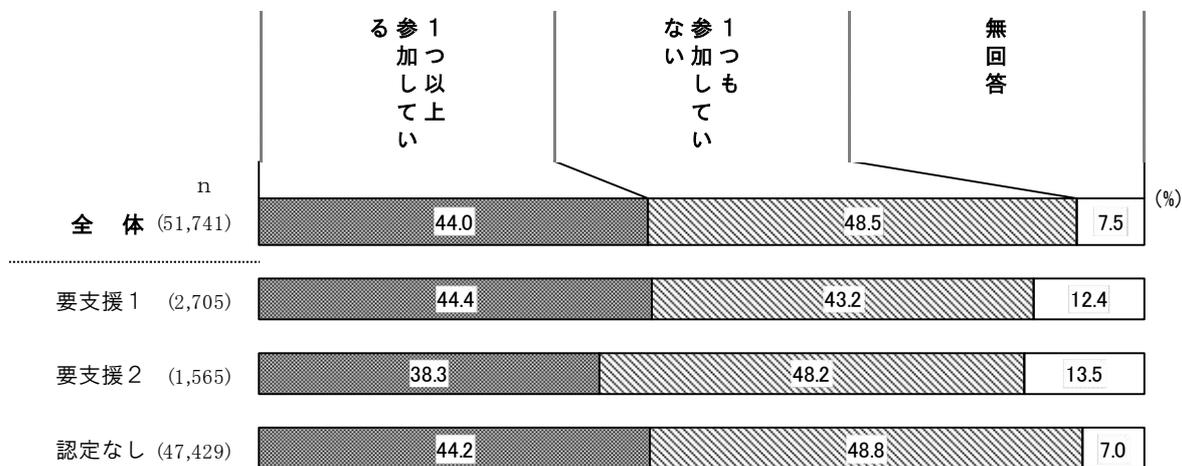
〈日常生活圏域別／活動への参加状況〉



第2章 調査結果の詳細

介護度別でみると、“要支援2”で「1つ以上参加している」が38.3%と他層より低くなっています。

〈介護度別／活動への参加状況〉

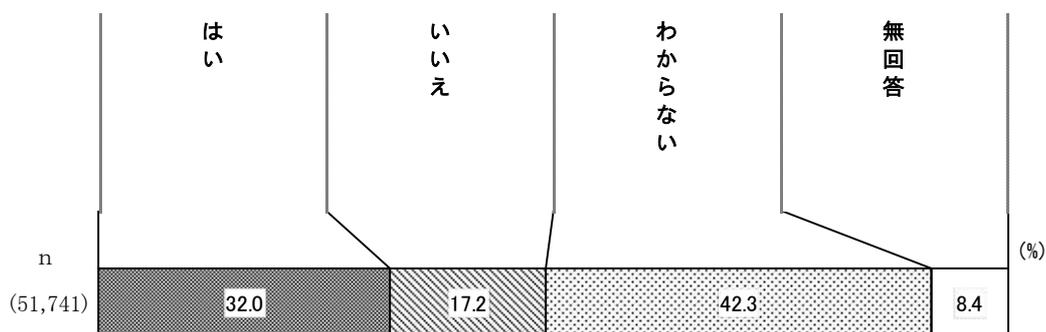


(2) 災害時・緊急時での手助け

■ 「はい」が32.0%も、「わからない」42.3%

問21 あなたは災害時・緊急時に人の手助けができますか。(○は1つ)

災害時・緊急時に人の手助けができるかをきいたところ、「はい」が32.0%、「いいえ」が17.2%となっています。また、「わからない」が42.3%と最も高くなっています。



8. コロナ禍における心身の状態変化

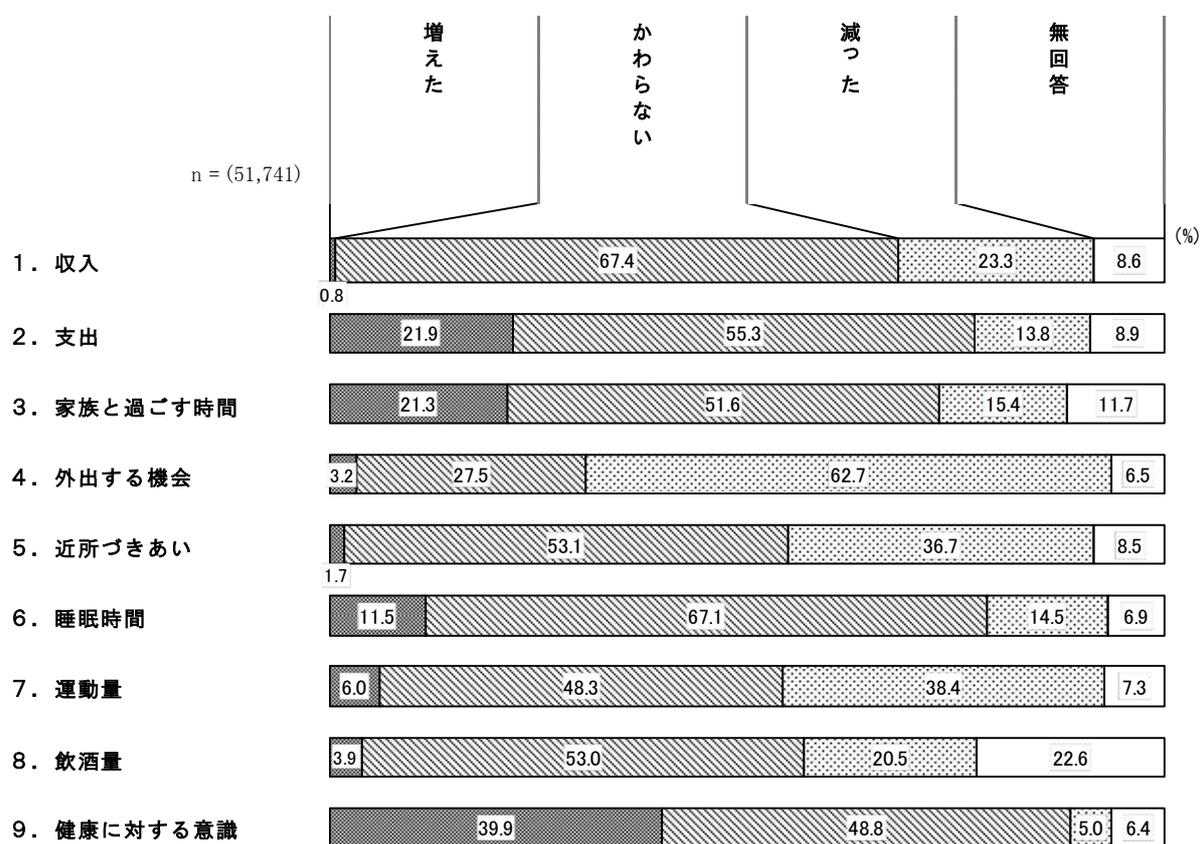
(1) 自粛生活での暮らしや気持ちの変化

■【健康に対する意識】が増え、【外出する機会】が減った

問22 新型コロナウイルス感染拡大防止による自粛生活で、あなたの暮らしや気持ちにどのような変化がありましたか。(自粛前と現在の違いを教えてください。)

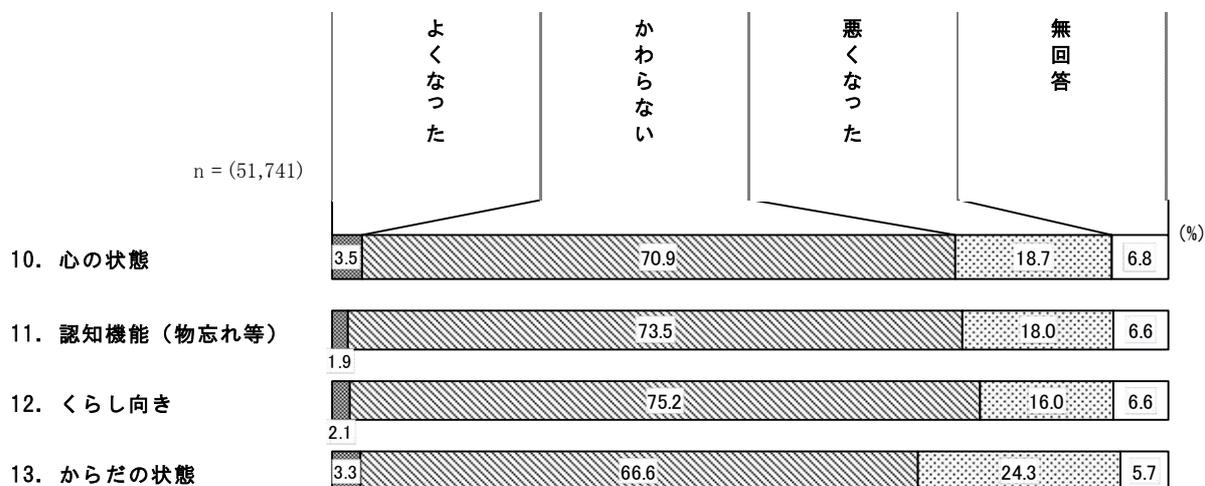
(○はそれぞれ1つずつ)

コロナ禍の自粛生活での暮らしや気持ちの変化をきいたところ、「増えた」は【健康に対する意識】が39.9%で最も高く、以下【支出】(21.9%)、【家族と過ごす時間】(21.3%)と続きます。一方、「減った」は【外出する機会】が62.7%で非常に高く、以下【運動量】(38.4%)、【近所づきあい】(36.7%)と続きます。また、【収入】と【睡眠時間】は「かわらない」が6割台後半と高くなっています。



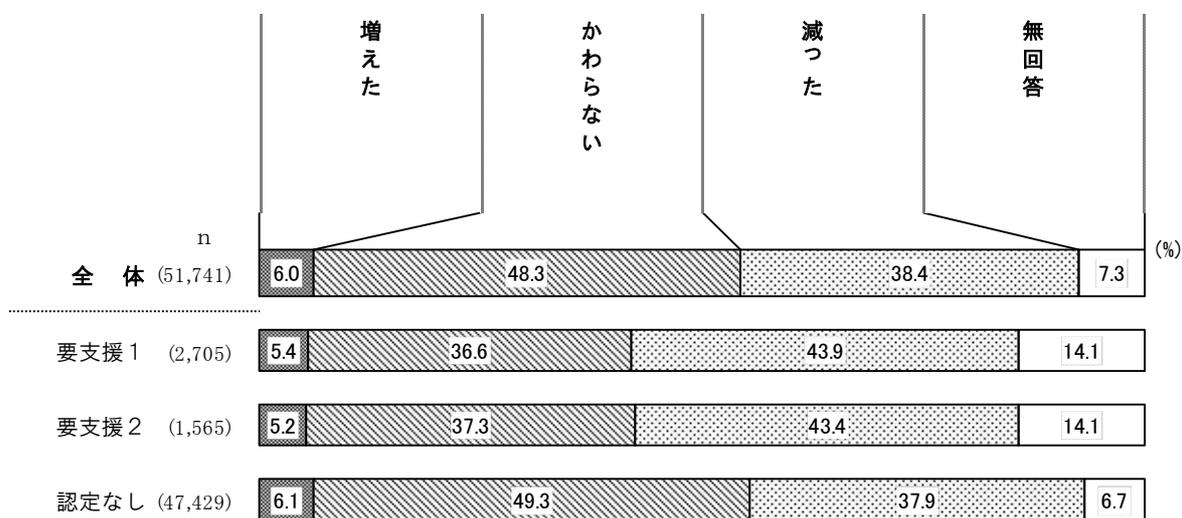
第2章 調査結果の詳細

以下4項目については、「かわらない」が高くなっているものの、【からだの状態】では「悪くなった」が24.3%と、やや高くなっています。



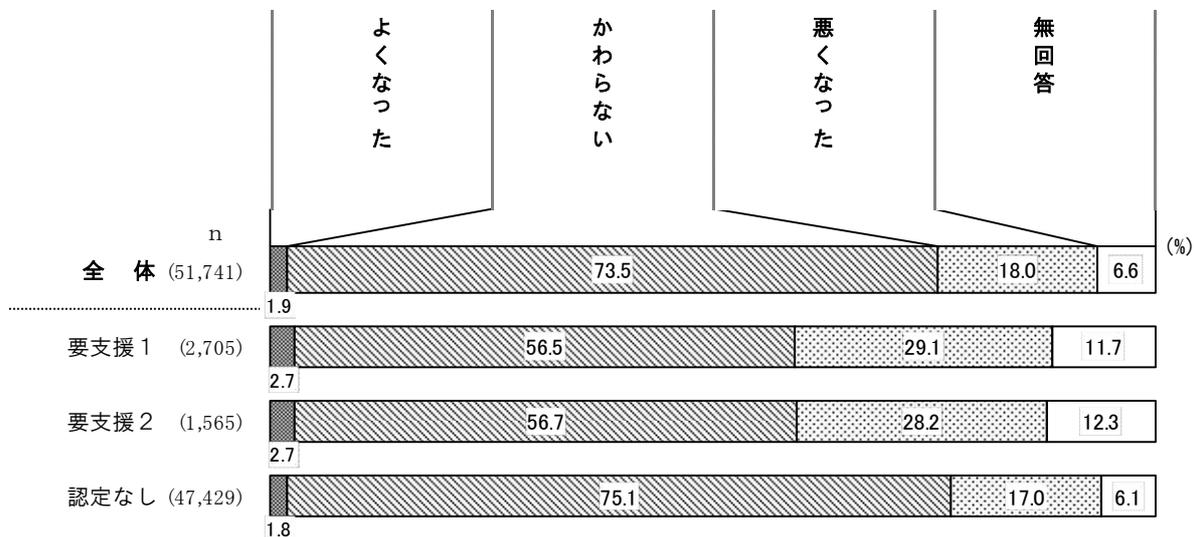
【運動量】を介護度別にみると、“要支援1”“要支援2”では「減った」がともに4割台半ばと、“認定なし”(37.9%)より高くなっていることがわかります。

〈介護度別／自粛生活での暮らしや気持ちの変化／運動量〉



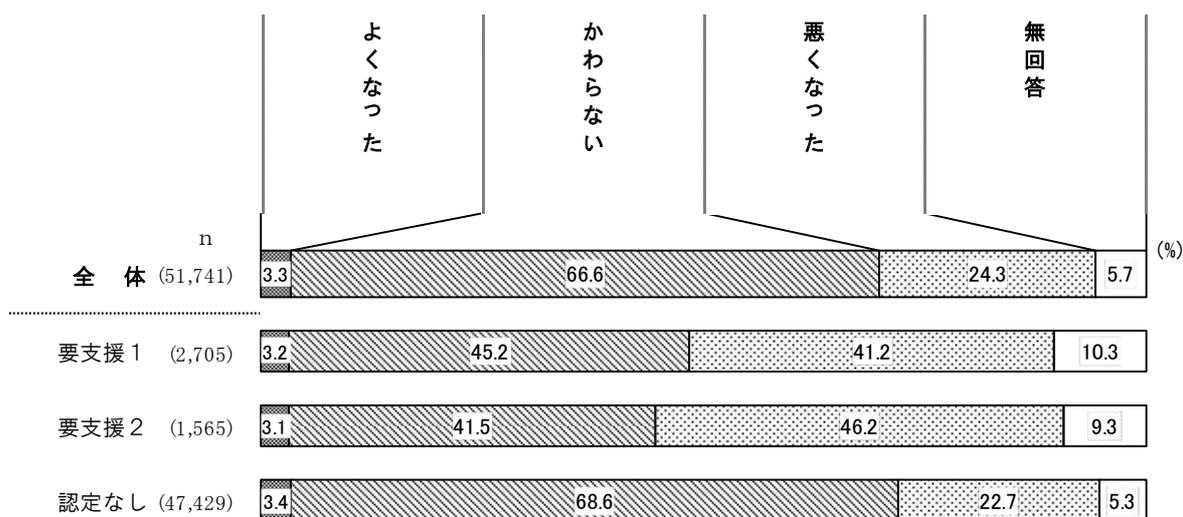
【認知機能（物忘れ等）】を介護度別にみると、“要支援1”“要支援2”では「悪くなった」がともに3割弱と、“認定なし”（17.0%）より高くなっています。

〈介護度別／自粛生活での暮らしや気持ちの変化／認知機能（物忘れ等）〉



また、【からだの状態】を介護度別にみると、“要支援1”“要支援2”では「悪くなった」が4割台と、“認定なし”（22.7%）を大幅に上回っています。

〈介護度別／自粛生活での暮らしや気持ちの変化／からだの状態〉



9. 相談

(1) 高齢者あんしんセンターの認知度

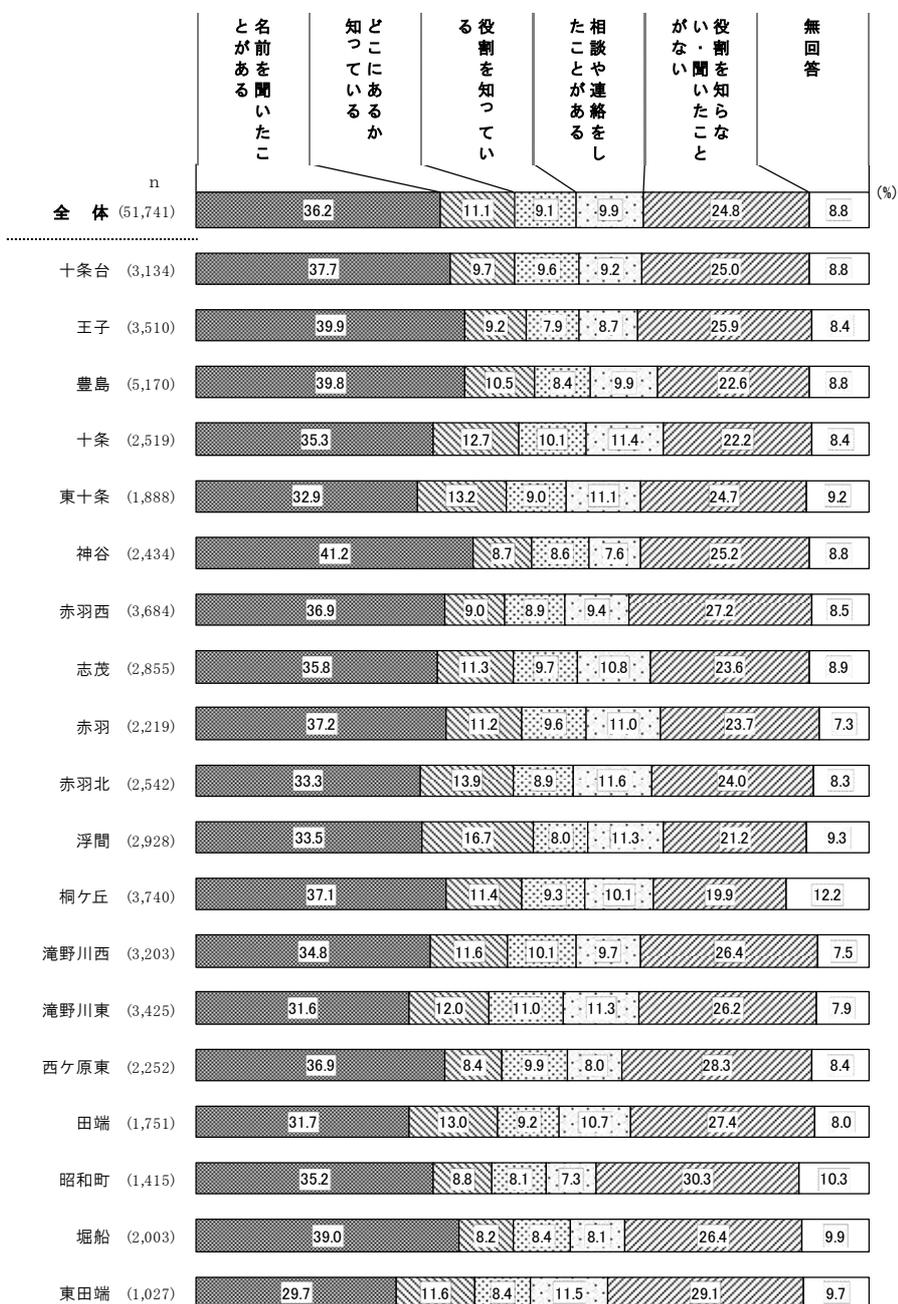
■ 《知っている》が66.3%

問23 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）について、どの程度ご存じですか。（○は1つ）

高齢者あんしんセンターへの認知をきいたところ、「相談や連絡をしたことがある」から「名前を聞いたことがある」までを含めた《知っている》は、全体で66.3%となっています。

日常生活圏域別で《知っている》をみると、“十条”と“浮間”で69.5%と高く、一方、“昭和町”で59.4%と低くなっています。

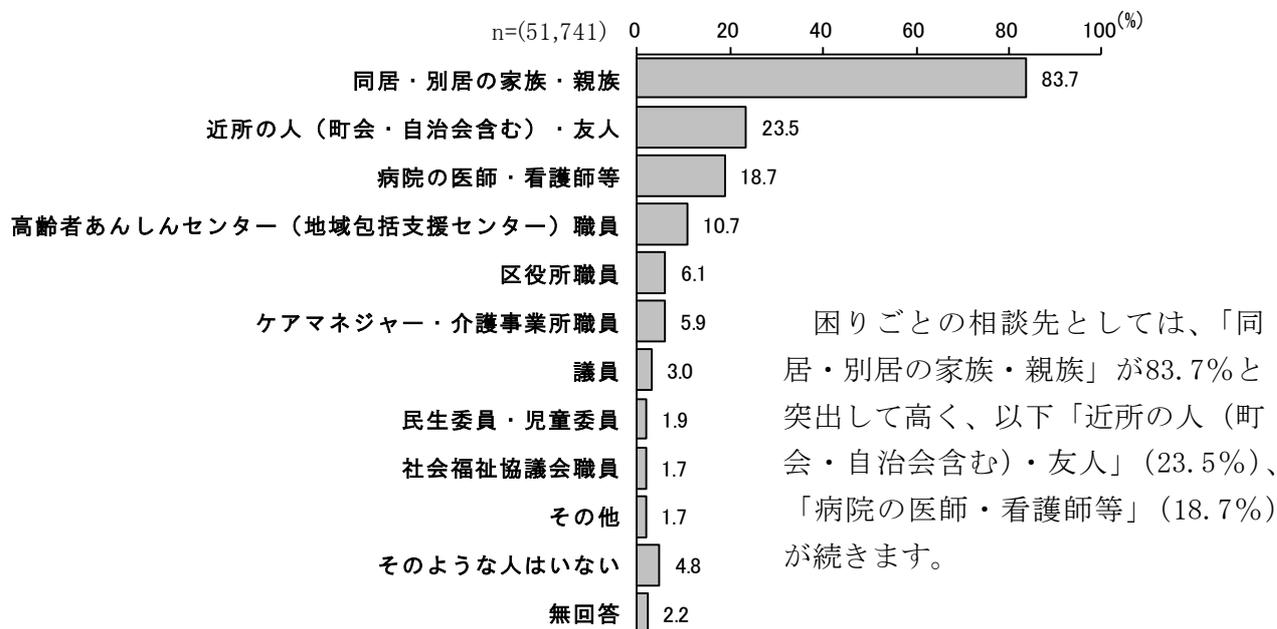
〈日常生活圏域別／高齢者あんしんセンターの認知度〉



(2) 困りごとの相談先

■ 「同居・別居の家族・親族」が8割台で突出

問25 困りごとを相談する相手はだれですか。(〇はあてはまるものすべて)



困りごとの相談先としては、「同居・別居の家族・親族」が83.7%と突出して高く、以下「近所の人 (町会・自治会含む)・友人」(23.5%)、「病院の医師・看護師等」(18.7%)が続きます。

家族構成別でみると、“一人暮らし”では「近所の人 (町会・自治会含む)・友人」が30.4%と他層より高くなっています。また、“家族の年齢を問わず、同居している”層では「同居・別居の家族・親族」が9割を超えています。

〈家族構成別／困りごとの相談先〉

	全体	(%)							
		同居・別居の家族・親族	近所の人 (町会・自治会含む)・友人	病院の医師・看護師等	高齢者あんしんセンター (地域包括支援センター) 職員	区役所職員	ケアマネジャー・介護事業所職員	議員	民生委員・児童委員
全体	51,741	83.7	23.5	18.7	10.7	6.1	5.9	3.0	1.9
一人暮らし	15,189	66.6	30.4	17.3	12.4	8.2	6.7	2.7	2.6
同居の家族はすべて65歳以上	17,754	90.9	20.0	19.4	10.9	5.8	6.3	3.0	1.6
64歳以下の家族と同居	16,078	92.9	21.9	19.3	9.0	4.5	4.6	3.1	1.6
その他	1,328	86.7	17.8	18.7	10.1	5.3	6.6	2.2	1.8

	全体	(%)			
		社会福祉協議会職員	その他	そのような人はいない	無回答
全体	51,741	1.7	1.7	4.8	2.2
一人暮らし	15,189	2.3	2.8	10.1	2.7
同居の家族はすべて65歳以上	17,754	1.4	1.1	2.7	1.7
64歳以下の家族と同居	16,078	1.4	1.1	2.2	1.4
その他	1,328	2.0	2.6	3.5	1.9

10. 緊急時について

(1) 緊急時対応してくれる人の有無

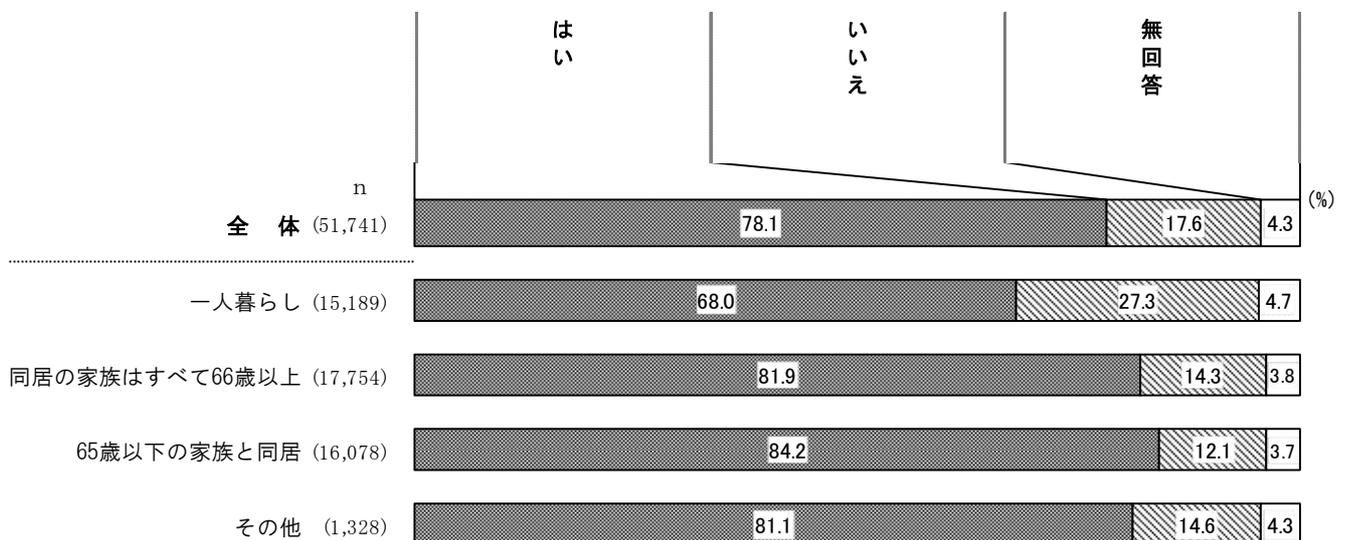
■いるという人は8割弱

問26 緊急時にすぐ駆けつけてくれる人はいますか。(○は1つ)

緊急時にすぐ駆けつけてくれる人がいるという回答(「はい」)は、全体で78.1%を占めています。

家族構成別みると、“家族の年齢を問わず、同居している”層の8割以上ですぐ駆けつけてくれる人がいる(「はい」)としているのに対し、“一人暮らし”では6割台後半となり、差があることがわかります。

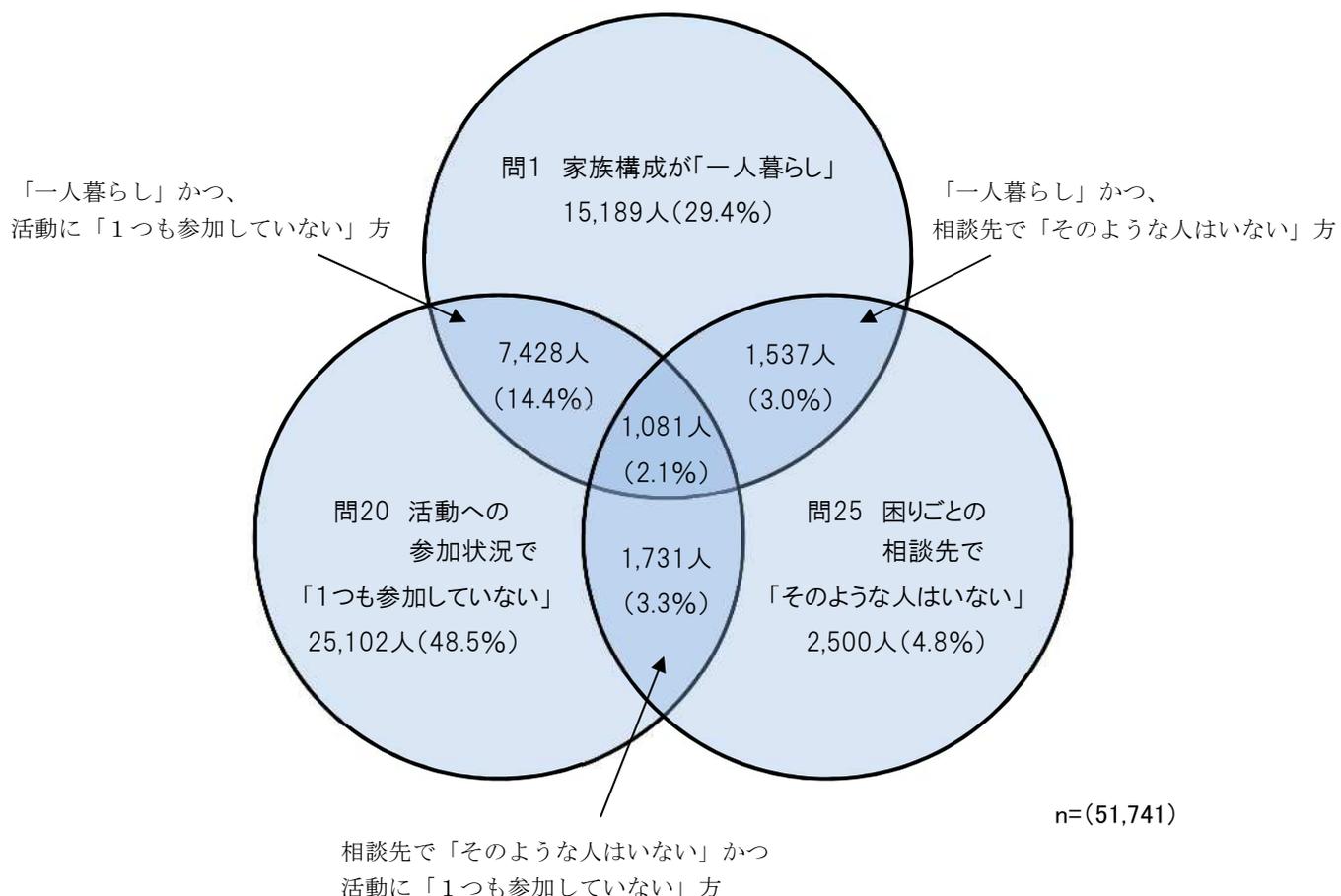
〈家族構成別／緊急時対応してくれる人の有無〉



1.1. 特に見守りが必要と思われる方について

問1の家族構成で「一人暮らし」と回答し、かつ問20の活動への参加状況で「1つも参加していない」と回答した方、さらに問25の困りごとの相談先で「そのような人はいない」と回答した方を『特に見守りが必要と思われる方』として集計しました。

その結果、1,081人（2.1%）の方が3項目に該当し、この方を『特に見守りが必要と思われる方』と定義しました。



第2章 調査結果の詳細

北区全高齢者実態把握調査〈長生きするなら北区が一番アンケート〉

報告書

【概要版】

令和4年3月発行 刊行物登録番号3-1-128

発行:北区健康福祉部高齢福祉課

〒114-8508 北区王子本町1-15-22

電話 03-3908-1158 (ダイヤルイン)

調査報告書の著作権は区に帰属しますので、報告書の複製、貸与、
その他著作権を侵害する行為は一切禁止いたします